

白山市

デジタル田園都市構想総合戦略

白山市が誇る宝 人・白山の魅力を次世代につなぐ
～白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力があふれるまちを目指して～

令和7年3月

白 山 市

目 次

1 総合戦略の位置づけと役割	1
1) 総合戦略策定の背景・目的	1
2) 総合戦略の期間	2
3) フォローアップ体制	2
4) 総合計画・人口ビジョンと総合戦略との関係	3
2 第2期総合戦略の検証と課題解決の方向性	4
1) 第2期総合戦略の検証	4
2) 次期総合戦略に向けた背景	11
3 デジタル田園都市構想総合戦略	17
1) 地域ビジョン	17
2) 基本目標・成果指標及び基本的方向	18
3) 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）	27
基本目標1 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる 「子育て・教育」創生	27
基本目標2 白山手取川ジオパークの豊かな自然と歴史・文化を 活かした「観光・交流」創生	34
基本目標3 商工業の集積と農林水産資源を活かした 「仕事・雇用」創生	41
基本目標4 地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ 「都市・地域」創生	46

1 総合戦略の位置づけと役割

1) 総合戦略策定の背景・目的

本市は、平成 17（2005）年 2 月 1 日の合併により誕生し、平成 19（2007）年 3 月に「白山市総合計画」、平成 29（2017）年 3 月に「第 2 次白山市総合計画」を策定し、将来像である「健康で笑顔あふれる元気都市 白山 ～ 次世代への贈り物 白山の恵みと人集い、活力あふれるまち ～」の実現を目指し、様々なまちづくり施策を展開してきた。

一方、平成 26（2014）年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住み良い環境を確保し、将来にわたって活力ある日本を維持することに国を挙げて取り組むとする「地方創生」の考え方が示された。

本市では、これらの基本的な考え方や国が示す政策 5 原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえ、平成 27（2015）年 10 月に「白山市人口ビジョン」及び「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 30（2018）年 8 月に改訂）」を策定し、地方創生の取組を展開してきた。

令和元（2019）年 12 月には、国において、関係人口※¹の創出や Society5.0※²、「SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）」の実現による持続可能なまちづくりなど、新たな視点を充実させた「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が示された。これを受け、本市においても総合戦略の評価・見直しを行い、令和 2（2020）年 3 月に「第 2 期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、取組を推進してきた。

その後、新型コロナウイルスの感染症拡大や ICT の進化等の社会情勢の変化を受け、国において、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化させ、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指し、令和 4（2022）年 12 月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定された。

そこで今回、本市においても、第 2 期総合戦略におけるこれまでの取組を評価するとともに、国の方針を踏まえ、第 3 期地方版総合戦略として新しい戦略の策定を行うものである。

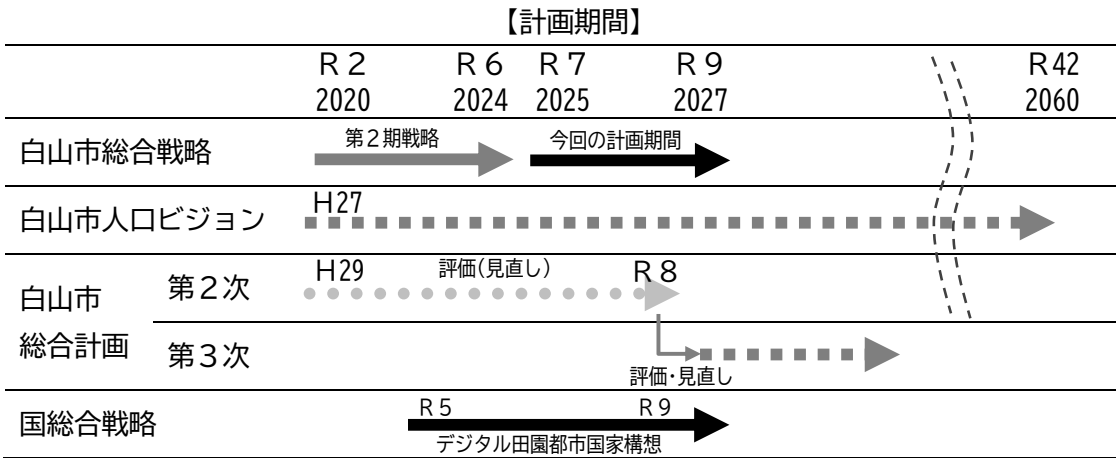
この総合戦略は、中長期的な将来展望を見据えつつ、デジタル技術も活用しながら、より具体的かつ実効性のある施策・事業を展開することにより、「まち・ひと・しごと」を創生することで、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服することを目指している。

※ 1 関係人口：移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを指す。

※ 2 Society5.0：5Gをはじめ、ICT、IoTなどのあらゆるものをネットワーク化し、経済発展と社会課題の解決による新しい社会（Society）。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会を指すもので、第 5 期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱。

2) 総合戦略の期間

本戦略の計画期間は、令和7（2025）年度～令和9（2027）年度の3か年とする。



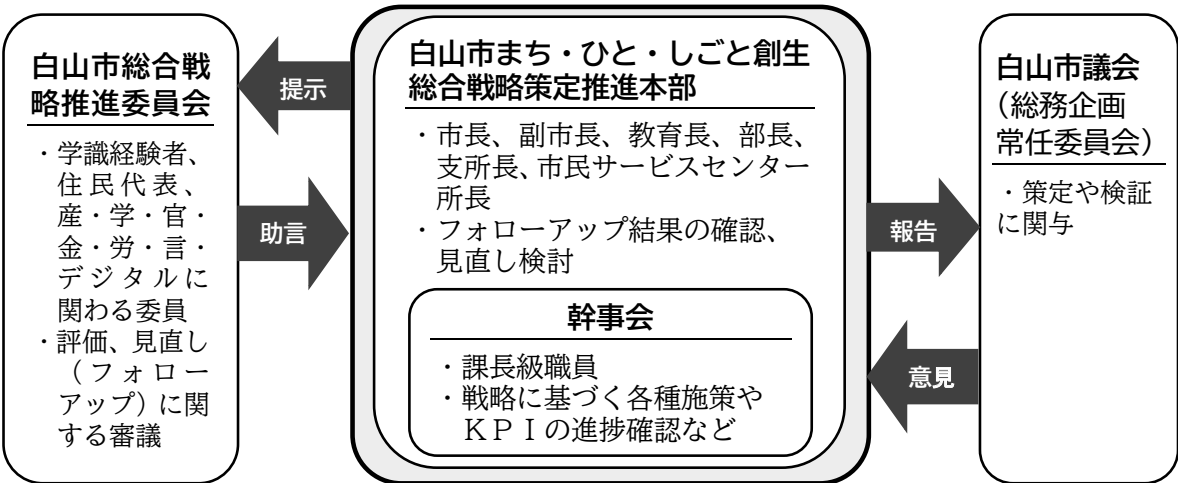
3) フォローアップ体制

総合戦略の策定にあたっては、全庁的に推進を図るため、白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部及び幹事会を庁内に設置するとともに、有識者の助言を得るため、学識経験者や住民代表、産・学・官・金・労・言・デジタルの各分野の代表者により構成する「白山市総合戦略推進委員会」を組織した。さらに、幅広い意見を取り入れるため、白山市議会（常任委員会）やパブリックコメントの意見も参考とし、総合戦略を策定した。

今後、総合戦略の実現に向けては、総合戦略の進捗に係る評価及び検証を行い、必要に応じて施策の見直しを行う。このPDCAマネジメントの実行にあたっては、白山市総合戦略推進委員会からの意見を聴取し、具体的施策の進捗及び重要業績評価指標（KPI※）を踏まえ、継続的な見直しを行う。

※KPI：Key Performance Indicator の略。

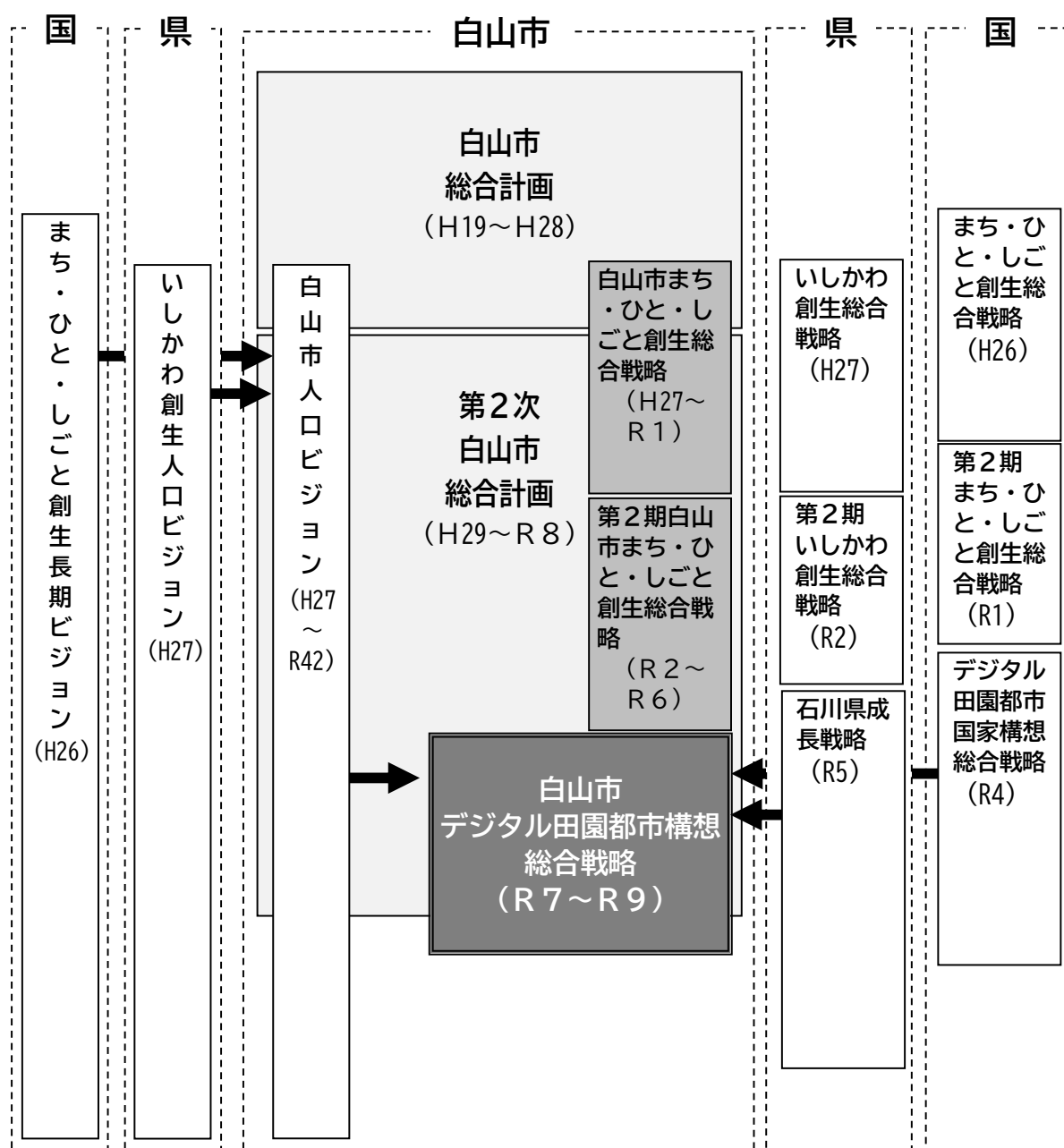
【総合戦略のフォローアップ体制】



4) 総合計画・人口ビジョンと総合戦略との関係

白山市総合計画は、本市の総合的な振興・発展などを図るため、行政全般にわたる目標や取り組むべき施策をまとめた市の最上位計画であり、また、人口ビジョンは、人口の将来展望を見据えた長期計画である。一方、総合戦略は、人口ビジョンによる将来推計人口を上昇傾向または維持させていくため、特に人口減少問題や地域経済の縮小の克服に向けた「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立を目指す施策・事業を組み合わせ、より具体的かつ戦略的に施策を展開するための中期計画であり、これらは密接な関連を持つものである。

【総合計画・人口ビジョン・総合戦略の関係性】



2 第2期総合戦略の検証と課題解決の方向性

1) 第2期総合戦略の検証

令和2（2020）年に策定した第2期総合戦略では、本市の人口減少の抑制を図るため、各種施策を展開してきた。次期総合戦略の策定に際し、これらの施策の進捗状況や近年の人口等の変化、市民ニーズの変化などから計画の効果を検証する。

(1) 施策の進捗状況

- ・基本目標毎に定めた成果指標のうち、人口の社会増減数、観光入込客数、合計特殊出生率が未達成の見込みで、これらはコロナ禍の影響が大きい。それ以外は達成が見込まれている。
- ・人口の社会増減数は回復傾向であるが伸び悩んでおり、引き続き効果的な施策の推進が必要である。
- ・観光入込客数はコロナ禍の落ち込みからは回復してきており、白山手取川ユネスコ世界ジオパークやトレインパーク白山などの地域資源を活かした取組や、外国人の誘客、交流活動の強化が必要である。
- ・健康・福祉・教育では、健康寿命や要介護・要支援者の割合は改善しているが、合計特殊出生率は基準値より低下しており、婚活や妊娠・子育ての支援施策の充実や、健康づくりに向けた意識啓発の強化が必要となっている。

【基本目標の成果指標による評価】

基本目標	成果指標	基準値(H30)	目標値(R6)	実績値
1 仕事・雇用	市内従業者数	54,992 人(H28)	55,900 人	57,952 人(R3)
	女性の就業率	53.3%(H27)	54.6%	54.5%(R2)
2 観光・交流	人口の社会増減数	単年+511 人	5年累計+2500 人	R5 単年+328 人 R2~5 累計+691 人
	観光入込客数	4,850,567 人	5,200,000 人	3,861,927 人(R5)
3 健康・福祉・教育	合計特殊出生率	1.59	1.67	1.46(R4)
	健康寿命 (平均自立期間)	男性 80.4 歳 女性 84.8 歳	男性 80.6 歳 女性 85.0 歳	男性 81.1 歳(R5) 女性 85.6 歳
	要介護・要支援者の割合	16.7%	18.4%	17.1%(R5)
4 都市・地域	住み良いと感じる 市民の割合	72%(R1)	現状維持	81%(R6)

【各基本目標のKPIの評価】 (令和6年8月現在)

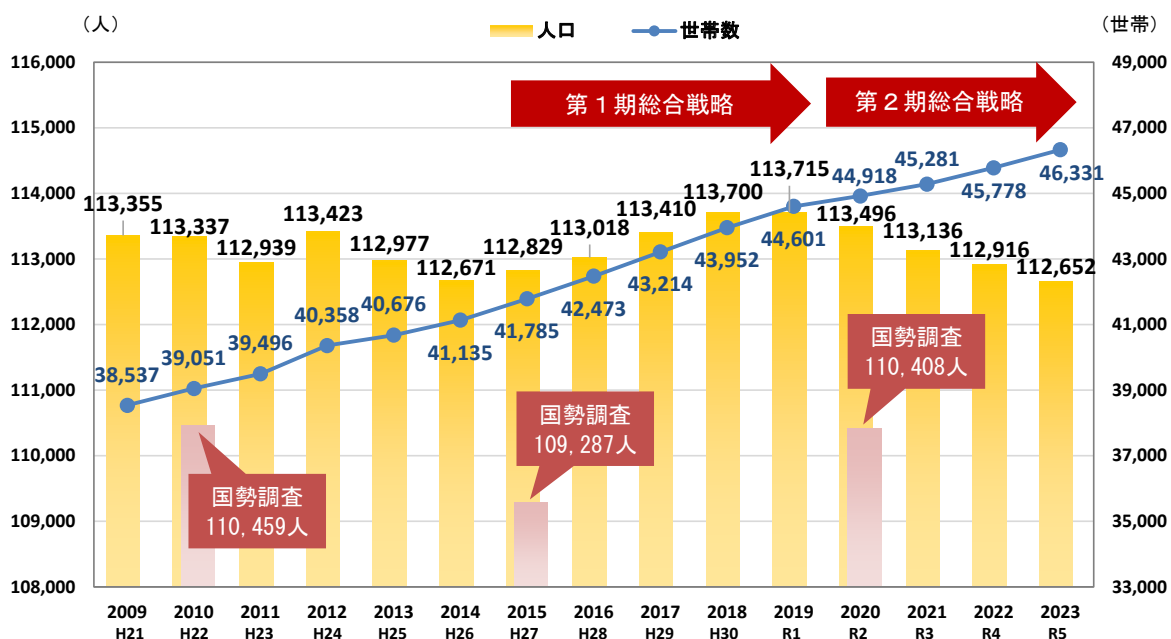
基本目標	成果指標数 (KPI)	評価※		
		◎	○	△
1 仕事・雇用	10	2	3	5
2 観光・交流	14	4	3	7
3 健康・福祉・教育	17	2	6	9
4 都市・地域	9	3	1	5
合計	50	11 (22%)	13 (26%)	26 (52%)

※評価 ◎：目標値を達成、○：目標値の8割以上を達成、△：目標値の8割未満

(2) 人口等の推移

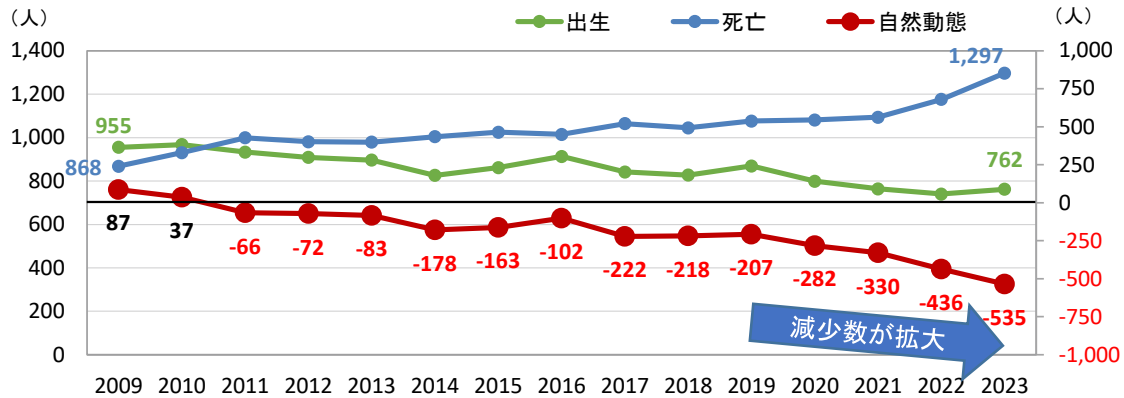
- ・国勢調査による総人口は、本市が誕生した平成 17（2005）年の 10 万 9,450 人から始まり、5 年後の平成 22（2010）年には 11 万 459 人（1,009 人増、1%増）となりピークを迎えた。その後、平成 27（2015）年には、減少したものの、第 1 期総合戦略策定後は増加となり、令和 2（2020）年は 11 万 408 人に持ち直した。これは、定住促進支援制度等により近隣市町からの転入者が増加し、社会動態が転入超過となったことが要因である。
- ・一方、住民基本台帳に基づく人口は、令和元（2019）年の 11 万 3,715 人がピークであり、その後は減少している。これは、コロナ禍の影響等により転入が落ち込み社会減となった令和 3（2021）年を除いて、概ね社会増を維持している反面、出生数の減少と死亡者数の増加による自然動態の減少が拡大していることにより、自然減を社会増でカバーしきれないためである。
- ・ただし、地域ごとの傾向が異なり、松任・鶴来地域では人口が増加し、白山ろく地域では、減少が顕著であることから、地域に配慮した対応が必要である。
- ・また、少子化・高齢化はさらに進行しており、高齢者の増加に伴う医療・福祉などの対応が求められている。
- ・さらに、20～40 歳代の未婚率が上昇して晩婚化の傾向にあり、令和 2（2020）年には 45～49 歳の未婚率が男性 23%、女性 13%となり、生涯未婚の人も増加していると推測される。また、将来の生産年齢人口を構成する 0～14 歳をはじめ、15～49 歳の階層の女性人口の減少が見られ、希望する人が結婚・妊娠・出産・育児しやすい環境をさらに充実していく必要がある。

【住民基本台帳に基づく人口等の推移】



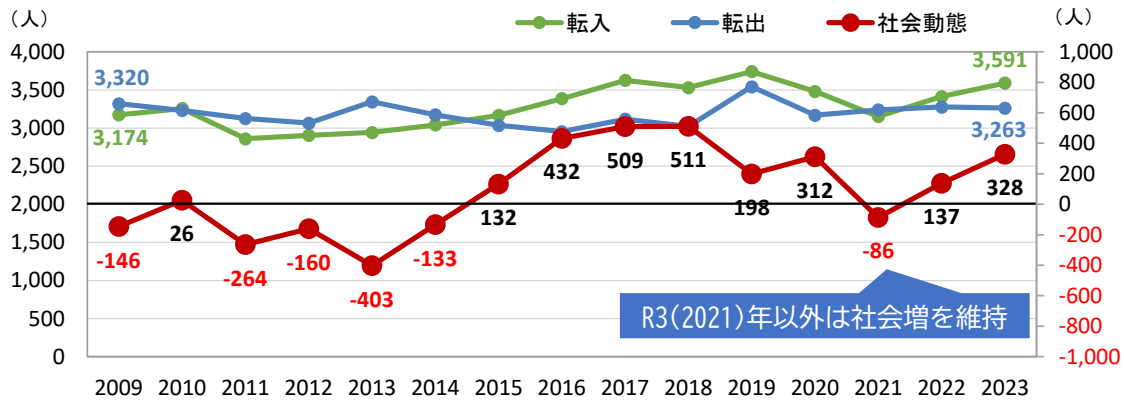
出典：住民基本台帳（12 月末時点）、国勢調査（10 月 1 日時点）

【自然動態の推移】



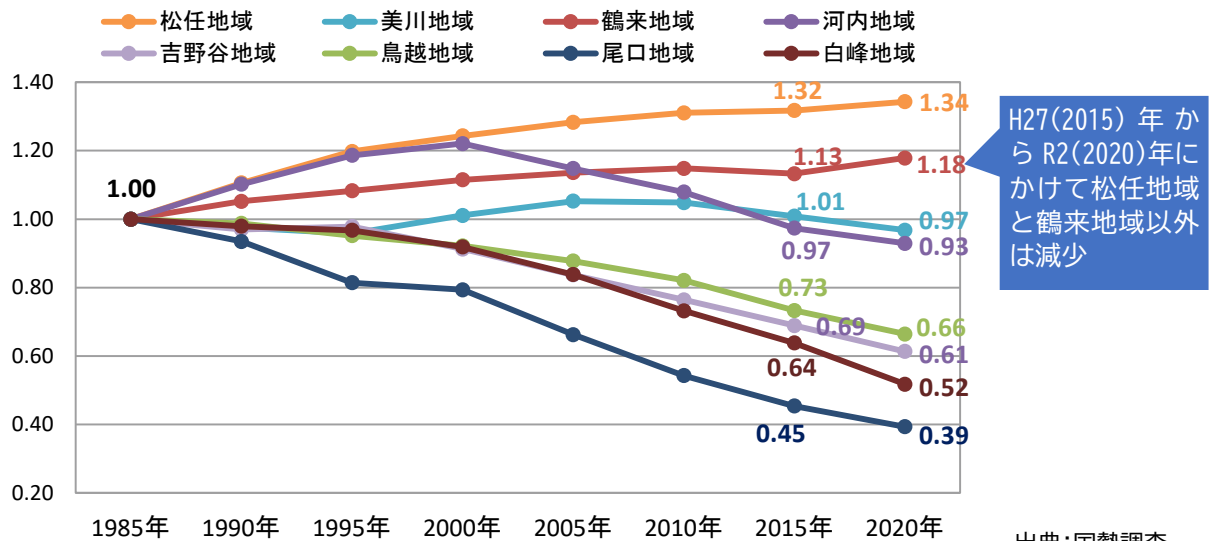
出典:石川県の人口動態(各年 10 月から9月の合計)

【社会動態の推移】



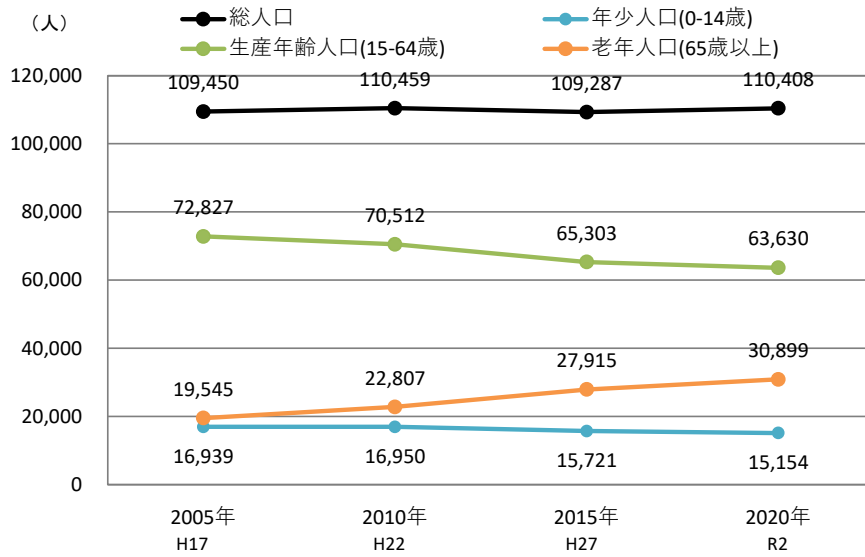
出典:石川県の人口動態(各年 10 月から9月の合計)

【地域別の人口増減比較率の推移】(1985=1.0 とした場合)



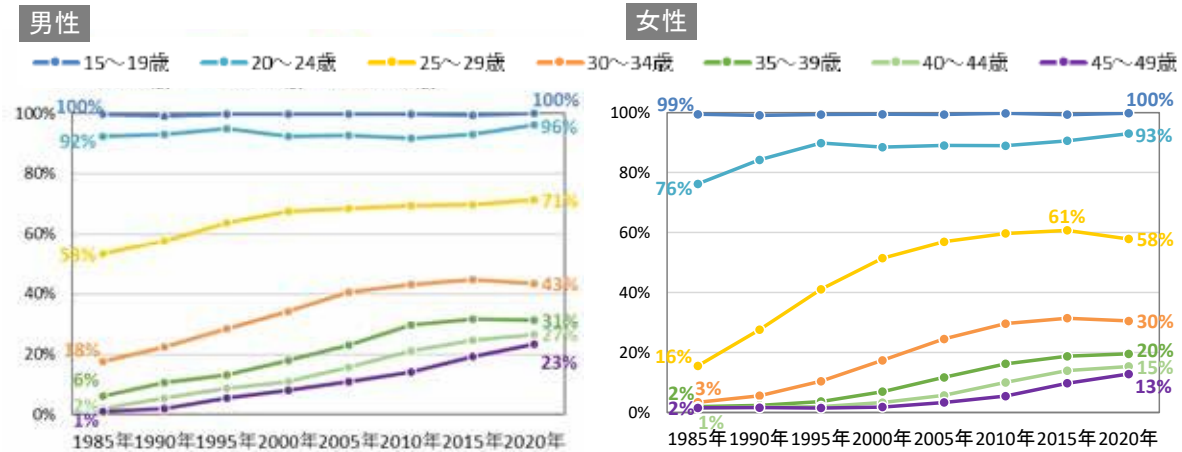
出典:国勢調査

【年齢3区分別人口】



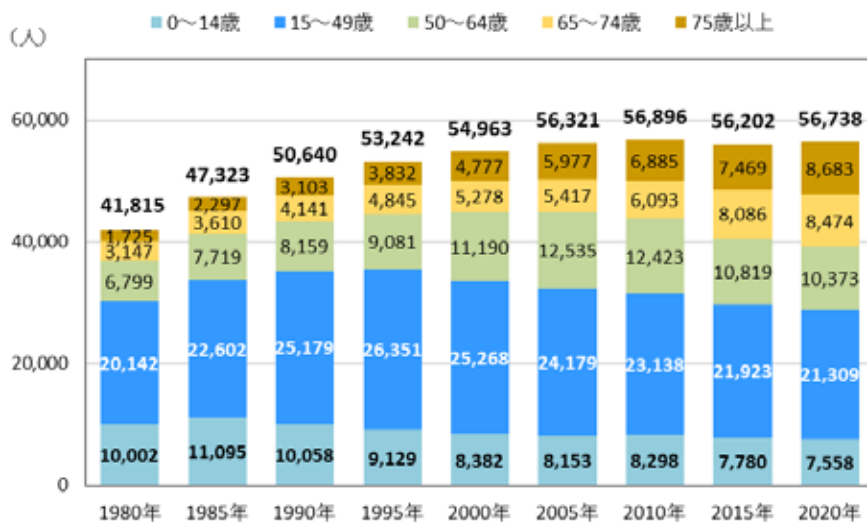
出典:国勢調査

【未婚率の推移(左:男性、右:女性)】



出典:国勢調査

【女性の人口の推移】



0~14 歳や 15~49 歳の減少が大きい

出典:国勢調査

※「年齢不詳」の人口を除くため、年齢階級ごとの人口の合計と総人口が異なる

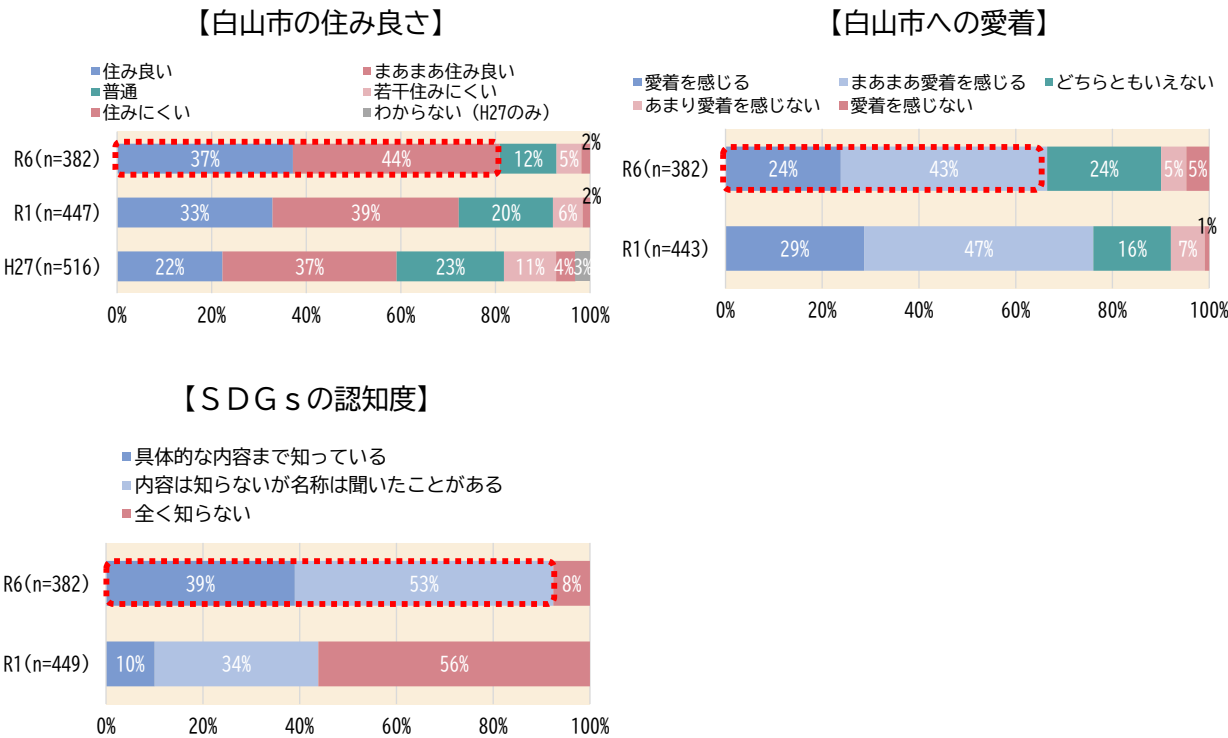
(3) 市民ニーズ（アンケート調査結果）

①調査概要

- ・調査目的：令和2（2020）年に策定した「第2期白山市総合戦略」の取組の評価とともに、仕事や定住、結婚・出産・子育て環境等に関する市民ニーズ・意見を把握し、「白山市デジタル田園都市構想総合戦略」策定の基礎的資料とすることを目的として実施した。
- ・調査対象：白山市在住の20～39歳の方から無作為抽出した2,000名
- ・調査方法：ハガキの郵送による依頼、WEBフォームによる回答
- ・調査期間：令和6（2024）年9月20日（金）～10月7日（月）まで
- ・配布・回収：配布数2,000名、回収数382名、回収率19%

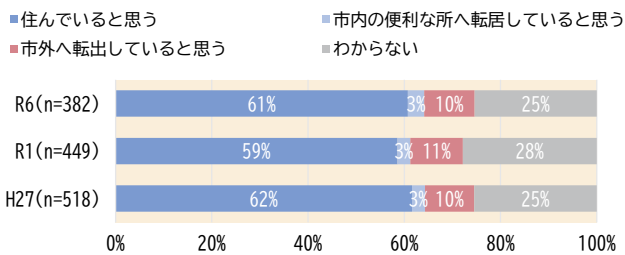
②調査結果 ※R1は第2期総合戦略策定時の調査、H27は第1期総合戦略策定時の調査

- ・本市の住み良さは、「住み良い」「まあまあ住み良い」合わせて81%を占め、R1よりやや高くなった。一方、本市に対する愛着は、「愛着を感じる」「まあまあ愛着を感じる」合わせて67%で、R1よりやや低くなった。
- ・SDGsについては、「具体的な内容まで知っている」「内容は知らないが名称は聞いたことがある」合わせて92%で、R1より大幅に高くなっている。

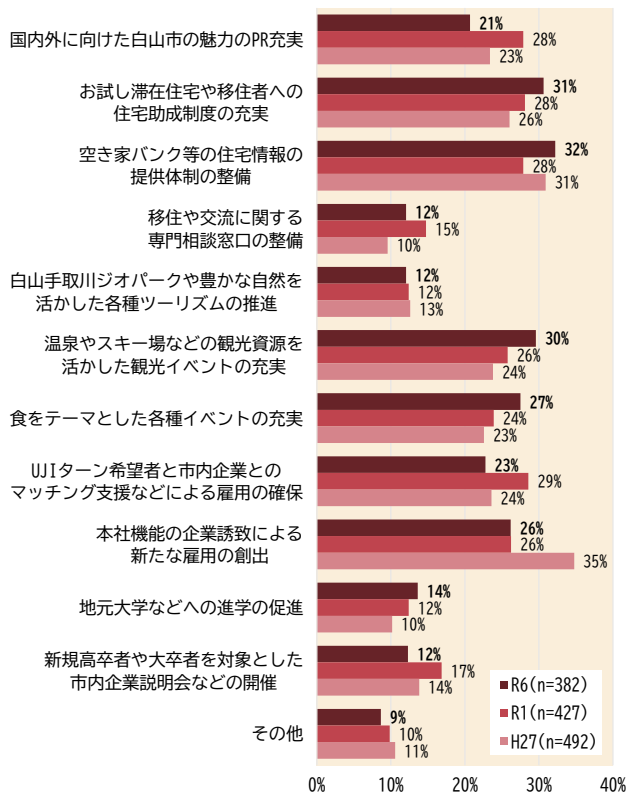


- ・今後の定住意向は、「住んでいると思う」が61%で、前回とほぼ同様となっているが、住み続ける理由としては「生活・住環境が良いから」「買い物が便利だから」などが増加し、「親や親族が住んでいるから」「災害が少なく安全だから」などが減少している。
- ・人口の維持・増加に向けて充実すべき施策としては、「空き家バンク等の住宅情報の提供体制の整備」「お試し滞在住宅や移住者への住宅助成制度の充実」「温泉やスキー場などの観光資源を活かした観光イベントの充実」が多く挙げられている。

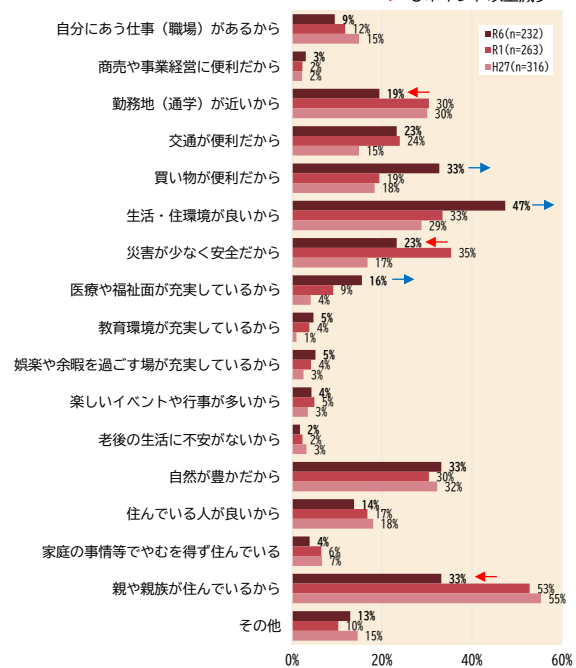
【白山市での定住意向と主な理由】



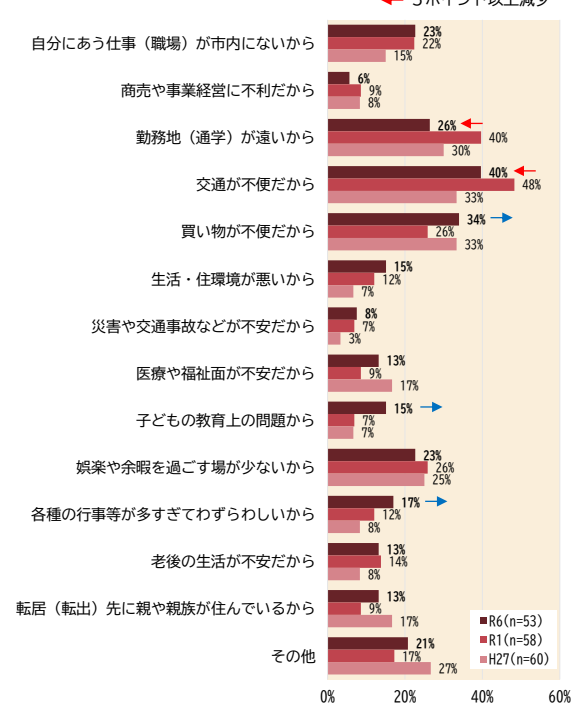
【人口の維持・増加に向けて充実すべき施策】



■住み続けると思う理由

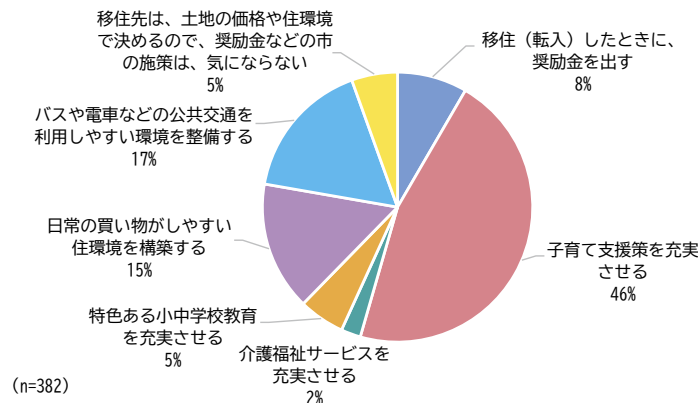


■転居・転出すると思う理由

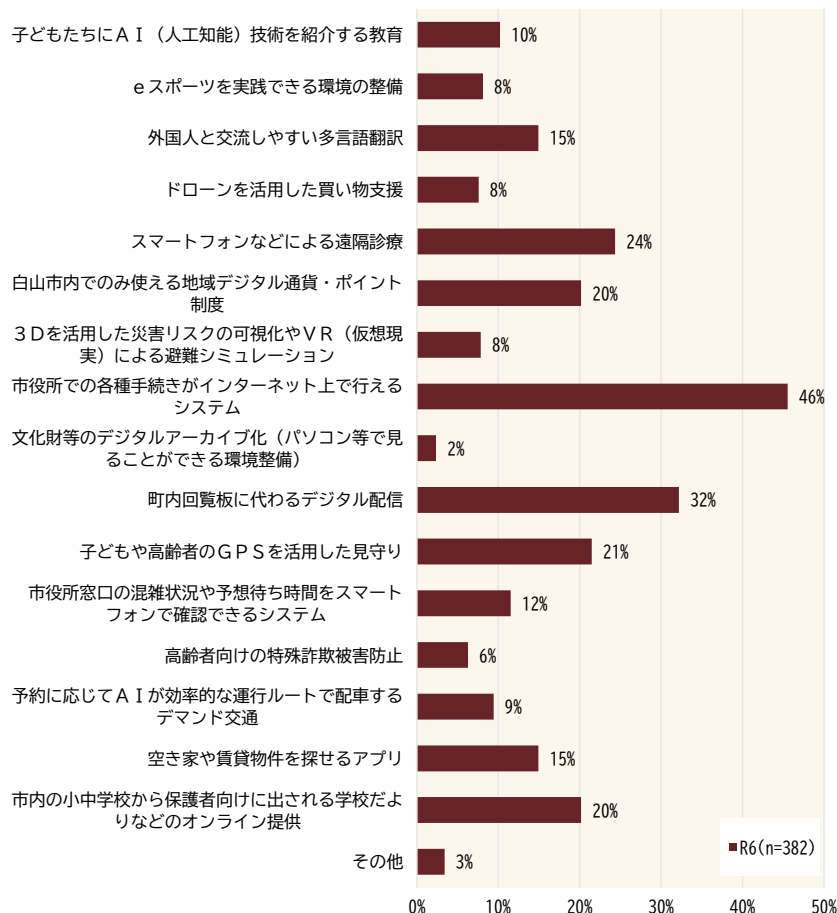


- ・移住先として選ばれるために最も効果的な施策としては、46%が「子育て支援策を充実させる」を挙げており、次いで「バスや電車などの公共交通を利用しやすい環境を整備する」が17%、「日常の買い物がしやすい住環境を構築する」が15%となっている。
- ・普及したらよいと思われるデジタル技術を活用した施策を選択肢から3つまで挙げる質問では、「市役所での各種手続きがインターネット上で行えるシステム」が46%で最も多く、次いで「町内回覧板に代わるデジタル配信」が32%、「スマートフォンなどによる遠隔診療」が24%となっている。

【移住先として選ばれるために最も効果的な施策】



【普及したらよいと思われるデジタル技術を活用した施策（3つまで）】



2) 次期総合戦略に向けた背景

(1) 国及び県の動向

令和4(2022)年12月に、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が改訂され、令和5(2023)年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定された。この総合戦略では、デジタル田園都市国家構想が目指すべき中長期的な方向、達成すべき重要業績評価指標(KPI)、構想の実現に必要な施策の内容やロードマップ等が示されている。国は、地方公共団体が、地域の実情に応じ、自主的・主体的にデジタル実装を通じた社会課題の解決に取り組めるよう、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、新しい地方経済・生活環境創生交付金(令和6(2024)年度までは、デジタル田園都市国家構想交付金)や地方財政措置等を通じて、分野横断的な支援を行うとしている。

【デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4(2022).12閣議決定、令和5(2023).12改訂)の全体像】

基本的考え方

- ◇「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- ◇デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。
- ◇これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。

施策の方向

地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX等
- ② 人の流れをつくる
移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上等
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進等
- ④ 魅力的な地域をつくる
地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX等

国によるデジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大等
- ② デジタル人材の育成・確保
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成等
- ③ 誰一人取り残されないための取組
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現等

政策間連携・施策間連携・地域間連携の推進

政策間連携

デジタル行財政改革会議における議論の進展や、「デジタル行財政改革中間とりまとめ」なども踏まえつつ、規制改革をはじめとする政策と連携しながら、一体的に推進等

施策間連携

各省による重点支援や地方支分部局の活用等による伴走型支援等を通じて、地域が目指す将来像の実現を支援等

地域間連携

自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進等

石川県においては、平成 28（2016）年 3 月に策定した「石川県長期構想」を石川県の最上位計画として県政を推進してきたが、社会経済情勢の変化を受け、石川県の進むべき方向性を示す新たな羅針盤として、令和 5（2023）年 9 月に「石川県成長戦略」を策定した。

この戦略は、石川県政運営の基本となる石川県の最上位計画であると同時に、まち・ひと・しごと創生法に基づく「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としての性格を併せ持ち、SDGs の達成に寄与するものとして策定している。

戦略の期間は、令和 5（2023）年度から令和 14（2032）年度までの 10 年間とし、策定から 5 年後を目途に中間評価を行い、必要に応じて見直すこととしている。

【石川県成長戦略の全体像】

〈基本目標〉	〈視点〉	〈戦略〉
幸福度日本一に向けた石川の未来の創造 く住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現く	視点 1 石川の新たな 価値の創造	戦略 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり
		戦略 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ 農山漁村づくり
		戦略 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり
	視点 2 県民が健やかに安心して 暮らせる社会の構築	戦略 4 石川の未来を切り拓く人づくり
		戦略 5 温もりのある社会づくり
		戦略 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり
		横断的戦略 1 デジタル活用の推進
		横断的戦略 2 カーボンニュートラルの推進

出典：石川県成長戦略概要版

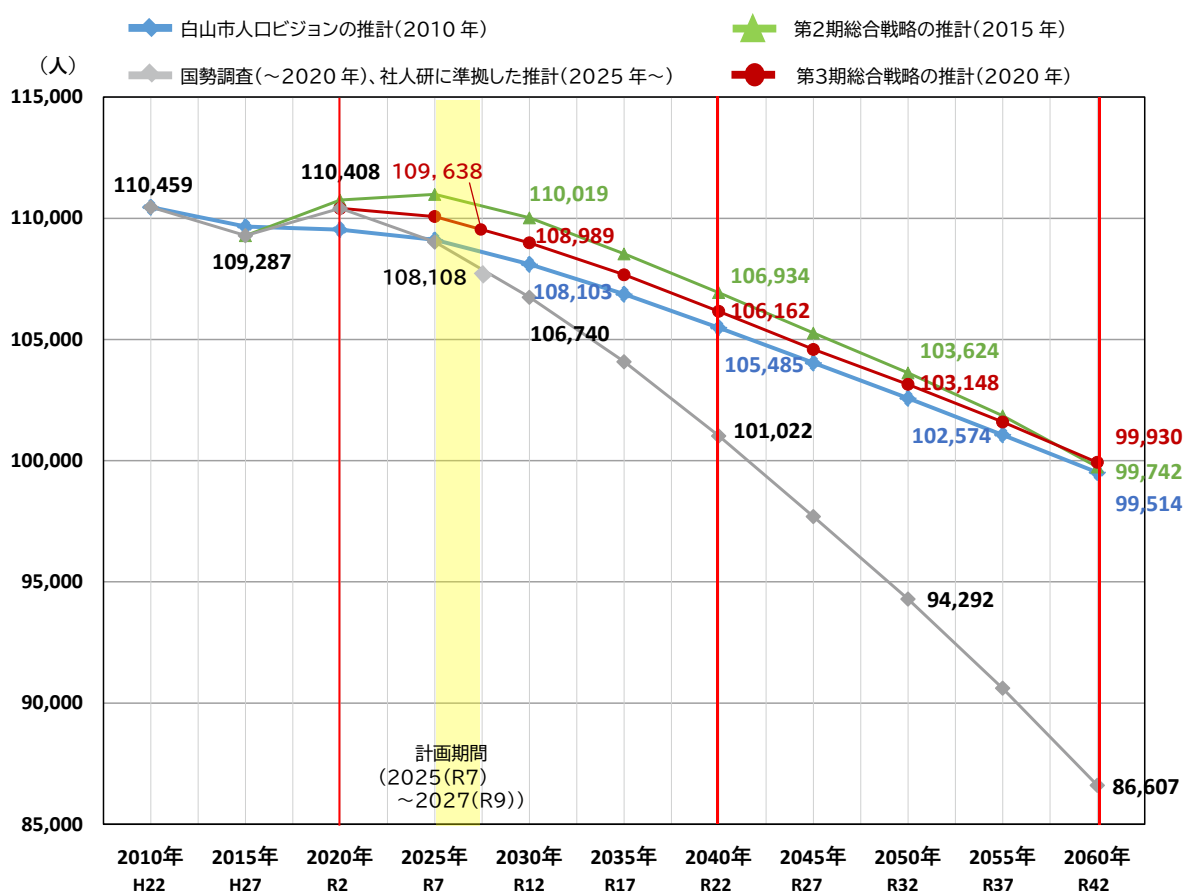
(2) 人口の将来展望

平成 27 (2015) 年に策定した白山市人口ビジョンでは、国立社会保障・人口問題研究所 (以下「社人研」という。) の推計を基本としながら、国における出生率の上昇に向けた取組に加え、本市においては人口減少の抑制を目指し、企業誘致や土地区画整理事業の促進、移住・定住施策の推進など、各種施策・事業を推進することで令和 42 (2060) 年に人口を 10 万人確保することを目標としている。

人口は、最新の国勢調査 (令和 2 (2020) 年) の結果では、当初の白山市人口ビジョンの推計を上回るものの、第 2 期総合戦略の予測を若干下回る人口 (人口ビジョン予測: 109,534 人、第 2 期総合戦略予測: 110,752 人、実績: 110,408 人) となっている。第 1 期総合戦略等の取組により人口は増加傾向となったが、コロナ禍 (令和 2 (2020) 年以降) では自然動態の減少が顕著となり、社会動態もそれ以前に比べて増加に陰りが見えつつある (P 5-6 参照)。

このような状況を踏まえると、現時点において、令和 42 (2060) 年には、当初の人口ビジョンや第 2 期総合戦略とほぼ同程度の人口 (99,930 人) が予測されることから、当初の目標通り人口 10 万人の確保を目指しながら、計画期間の終期となる令和 9 (2027) 年度末には、11 万人を確保していくこととする。

【人口の中長期的な将来展望】



なお、前述の推計については下記の条件を基に行っており、「出生に関する仮定」は最近の出生の状況を踏まえつつ、国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンで目指す目標値を達成するよう条件を設定した。また、「移動に関する仮定」は、前述の通り最近の社会動態は転入超過が続いており、今後も同様な傾向が続くように本計画の取組を進めることを踏まえ設定した。

【将来人口推計の仮定値】

出生に関する 仮定	・合計特殊出生率を令和 22(2040)年に 1.8 ^{※1} 、令和 42(2060)年に 2.07 ^{※2} に設定 ※1 国民希望出生率、※2 人口置換水準：人口を長期的に一定に保てる水準
死亡に関する 仮定	・社人研推計と同様 ^{※3} に設定 ※3 55～59 歳→60～64 歳以下では、全国と都道府県の平成 27(2015)年→令和 2(2020)年の生残率の比から算出される生残率を都道府県内市町村に対して一律に適用。60～64 歳→65～69 歳以上では、上述に加えて、都道府県と市区町村の平成 12(2000)年→令和 2(2020)年の生残率の比から算出される生残率を市区町村別に適用
移動に関する 仮定	・社人研推計を基本 ^{※4} としつつ、若年ファミリー世帯 ^{※5} の積極的な転出抑制及び転入促進施策により社会動態をプラス ^{※6} に設定 ※4 原則として、平成 27(2015)年～令和 2(2020)年の国勢調査(実績)等に基づいて算出された移動率が、令和 32(2050)年以降継続すると仮定 ※5 20 歳代、30 歳代の夫婦(2 人)と 15 歳未満の子ども(1 人)の 3 人世帯と仮定 ※6 令和 7(2025)年以降は、直近 5 年(令和元(2019)～令和 5(2023)年)の社会動態の実績(平均+178 人/年)を踏まえ、+175 人/年の転入超過と設定

【目標年次 令和9(2027)年の人口】

基準年	推計方法 [※]	目標年次						
		平成 27 (2015)年	令和 2 (2020)年	令和 7 (2025)年	令和 9 (2027)年	令和 12 (2030)年	令和 22 (2040)年	令和 42 (2060)年
平成 27 (2015) 年	社人研に準拠した推計	109,287 (実績値)	107,462	104,848	-	101,662	93,734	76,074
	【国】まち・ひと・しごと創生長期ビジョンに基づく推計		107,492	105,242	-	102,670	96,760	83,640
	【市】第2期総合戦略の推計		110,752	110,986	-	110,019	106,934	99,742
令和 2 (2020) 年	社人研に準拠した推計		110,408 (実績値)	109,020	108,108	106,740	101,022	86,607
	【国】まち・ひと・しごと創生長期ビジョンに基づく推計			109,308	108,587	107,506	103,453	92,804
	【市】第3期総合戦略の推計			110,070	109,638	108,989	106,162	99,930

※ 【国】まち・ひと・しごと創生長期ビジョンに基づく推計：社人研に準拠した推計のうち「出生に関する仮定」を上記に変更(それ以外は社人研に準拠)

【市】第3期総合戦略の推計：【国】まち・ひと・しごと創生長期ビジョンに基づく推計のうち「移動に関する仮定」を上記に変更(「死亡に関する仮定」は社人研に準拠)

【人口の推移と推計人口】

(単位:人)

区分	令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)
合計	110,408	110,070	108,989	107,670	106,162	104,591	103,148	101,599	99,930
0～4歳	4,587	4,241	4,292	4,376	4,504	4,537	4,458	4,331	4,372
5～9歳	5,078	4,941	4,578	4,648	4,751	4,886	4,924	4,840	4,705
10～14歳	5,513	5,238	5,096	4,727	4,801	4,910	5,046	5,084	4,999
15～19歳	5,555	5,294	5,032	4,886	4,534	4,605	4,707	4,835	4,871
20～24歳	4,894	4,781	4,556	4,319	4,161	3,849	3,910	3,997	4,105
25～29歳	4,808	5,348	5,192	4,993	4,759	4,538	4,199	4,263	4,354
30～34歳	5,613	5,305	5,753	5,662	5,490	5,256	4,990	4,627	4,696
35～39歳	6,476	6,074	5,720	6,195	6,133	5,974	5,747	5,464	5,077
40～44歳	7,688	6,718	6,293	5,938	6,438	6,392	6,243	6,011	5,722
45～49歳	8,890	7,595	6,622	6,205	5,856	6,362	6,327	6,179	5,950
50～54歳	7,164	8,790	7,501	6,541	6,127	5,794	6,297	6,262	6,117
55～59歳	6,381	7,105	8,694	7,422	6,475	6,067	5,751	6,250	6,215
60～64歳	6,739	6,314	7,027	8,615	7,357	6,422	6,022	5,708	6,203
65～69歳	7,606	6,525	6,123	6,827	8,388	7,168	6,261	5,871	5,564
70～74歳	8,810	7,233	6,200	5,836	6,520	8,029	6,871	6,002	5,627
75～79歳	6,024	8,117	6,666	5,745	5,435	6,087	7,510	6,425	5,613
80～84歳	3,897	5,204	7,076	5,843	5,084	4,858	5,464	6,738	5,763
85～89歳	2,808	2,946	3,975	5,524	4,596	4,068	3,956	4,436	5,465
90歳以上	1,877	2,301	2,593	3,368	4,753	4,789	4,465	4,276	4,512

<年齢4階級別人口>

(単位:人)

0～14歳	15,178	14,420	13,966	13,751	14,056	14,333	14,428	14,255	14,076
15～64歳	64,208	63,324	62,390	60,776	57,330	55,259	54,193	53,596	53,310
65～74歳	16,416	13,758	12,323	12,663	14,908	15,197	13,132	11,873	11,191
75歳以上	14,606	18,568	20,310	20,480	19,868	19,802	21,395	21,875	21,353

<年齢4階級別人口割合>

0～14歳	13.7%	13.1%	12.8%	12.8%	13.2%	13.7%	14.0%	14.0%	14.1%
15～64歳	58.2%	57.5%	57.2%	56.4%	54.0%	52.8%	52.5%	52.8%	53.3%
65～74歳	14.9%	12.5%	11.3%	11.8%	14.0%	14.5%	12.7%	11.7%	11.2%
75歳以上	13.2%	16.9%	18.6%	19.0%	18.7%	18.9%	20.7%	21.5%	21.4%

※ 四捨五入により、各年齢階級の合計が100%にならない。

（３）次期総合戦略への反映

観光・交流など、コロナ禍の影響等による伸び悩みが見られる分野はあるものの、市内従業者数や住み良いと感じる市民の増加など、第２期総合戦略の効果は着実に表れてきている。そのため、基本目標や施策の基本的方向は概ね維持しながら、国・県の戦略や本市の上位関連計画（第２次白山市総合計画、白山市ＳＤＧｓ未来都市計画等）なども反映し、次期総合戦略では、下記の視点に立ち、継続的に取り組む。

〔子育て・教育〕

結婚から妊娠・出産・子育てに至るまで、切れ目なくサポートすることにより、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整え、本市への定着を図る。また、本市の将来を担う人材の育成を図るとともに、生涯に渡り、活躍できるよう社会教育の充実にも努めていく。

〔観光・交流〕

白山から日本海まで、さらに手取川を中心とした扇状地をも有する本市には、雄大で豊かな自然があり、それらに育まれた歴史や文化、生活様式も根付いており、令和５（２０２３）年５月に市全域がユネスコから世界ジオパークの認定を受けたことにより、それらの地域資源を基に、さらなる観光誘客や交流人口の拡大を図る。また、引き続き産業分野と連携することにより観光に結び付けるとともに、外国人の誘客や交流活動の強化、本市とのつながりを高める関係人口の拡大にも取り組む。

〔仕事・雇用〕

雇用の確保に向け、引き続き工業団地の造成を図り、企業誘致に努めるほか、若年層や女性の勤労者が本市において定住に結び付くような就業環境を整え、中小企業におけるＤＸの推進や労働環境の向上などを通して多様な働き方の推進にも取り組む。また、良質な農地を背景とした基幹産業である農業や他業種にわたり盛んなものづくり産業の分野においても、高い付加価値が地域内外での経済循環を生み出す仕組みを構築する。

〔都市・地域〕

市民が本市に愛着を持ち、市内のどこにおいても安心して住み続けられる持続可能なまちの形成を目指し、地域防災力の強化、地域インフラの維持など、安全・安心な地域環境のさらなる向上を図る。また、地域ごとに異なる課題の解決に向け、コミュニティの向上に向けた市民との協働によるまちづくりやデジタル力の活用による行政サービスの利便性向上の取組も推進する。

3 デジタル田園都市構想総合戦略

1) 地域ビジョン

白山市が誇る宝 人・白山の魅力を次世代につなぐ

-白山手取川ユネスコ世界ジオパークの魅力があふれるまちを目指して-

本市は、1市2町5村が合併して誕生した県下最大の面積を有する自治体であり、地域ごとに多様な歴史・文化的資源を有している。こうした資源は、何世代にもわたり連綿と受け継がれてきたものであり、その担い手としての「人」は、本市の宝である。

本市の地域で多様な歴史・文化的資源が生み出された最大の素地は、標高2,702mの白山周辺に降った雨雪が手取川となり、その川の流れによって強固な手取川扇状地が形成され、その地下に流れる豊富な伏流水とともに大地を潤すことで形成される豊かな自然環境とその恵みにある。

このように、ユネスコ世界ジオパークに認定された白山手取川ジオパークは、本市の宝によってもたらされた恵みの結晶といえる。

新たな総合戦略では、本市の宝を柱とした地域の魅力を最大限に保全・活用することにより、次世代を担う子を育てやすく、安心して住み続けられる持続可能なまちを目指す。

なお、総合戦略の推進にあたっては、SDGsの理念に沿って、市民や地域団体、NPO、企業などの多様な主体と連携・分担を行い、社会・経済・環境に関わる様々な課題を、総合的な視点をもって解決する。



【国連 SDGs カラーホイール】

【SDGs(17の目標)の視点に基づく総合戦略の施策体系】

基本目標	SDGs (17の目標)																
	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 都市	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段
1 子育て・教育	●	●	●	●	●					●	●					●	●
2 観光・交流								●		●	●	●		●	●		
3 仕事・雇用	●	●		●	●			●	●	●		●		●	●		●
4 都市・地域				●	●	●	●		●	●	●		●		●		●

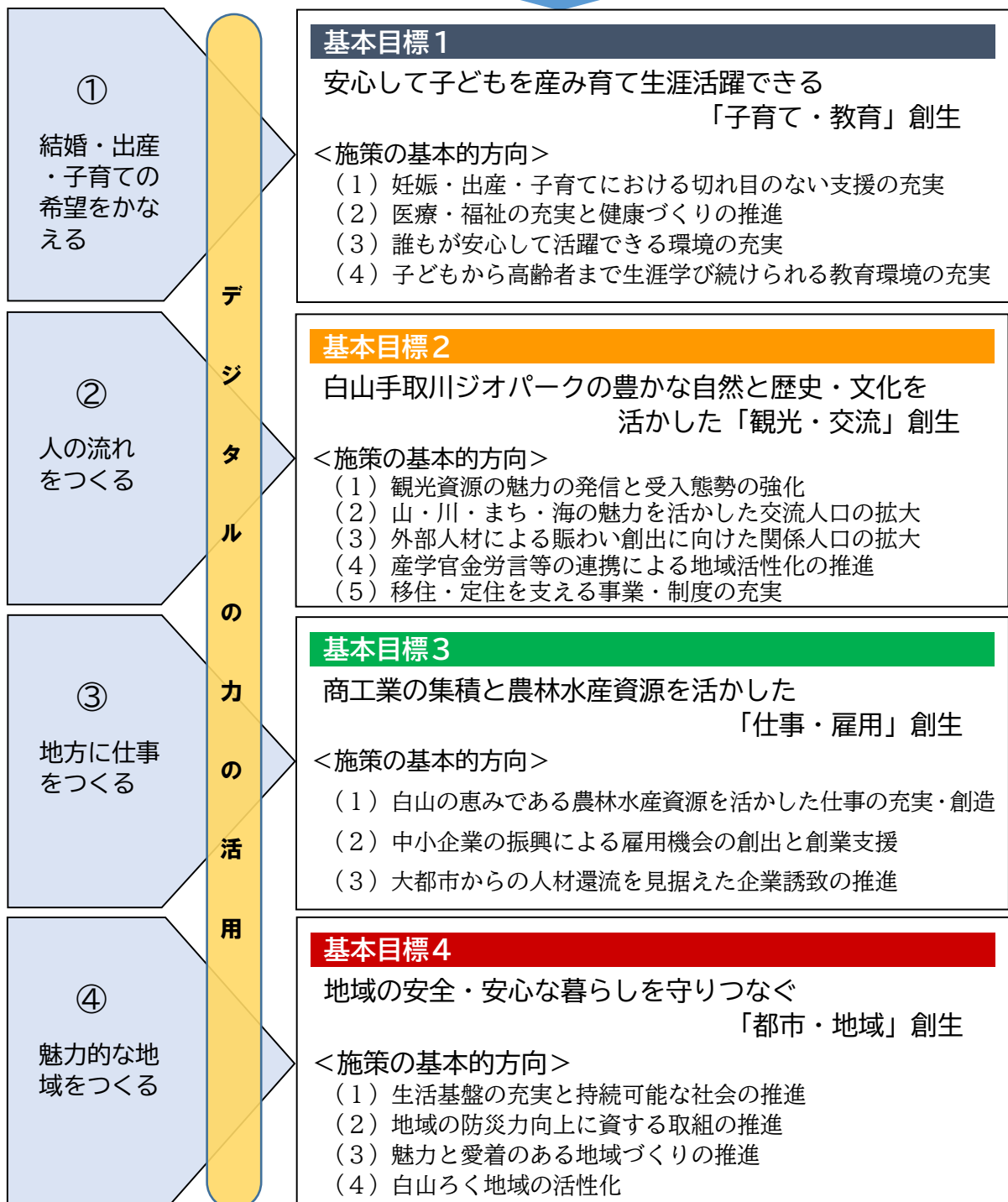
2) 基本目標・成果指標及び基本的方向

国のデジタル田園都市国家構想では、デジタルの力を活用して解決を図る地方の社会課題を4つの類型に分類している。これを踏まえつつ、白山・手取川・日本海を軸とする本市の地域特性や地域ビジョンを勘案し、総合戦略の4つの基本目標及び施策の方向を定める。

<白山市総合戦略の基本目標と施策の基本的方向>

地域ビジョン：白山市が誇る宝 人・白山の魅力を次世代につなぐ
目 標 人 口：令和9（2027）年度末 11万人

【社会課題】



本市では、年少人口割合が減少傾向にあり、特に白山ろく地域ではその傾向が顕著である。本市の合計特殊出生率は1.46（令和4（2022）年）で、国や県の数値は上回っているものの、人口置換水準（2.07）を大きく下回る状況であり、地域の安定化を図っていくためにも、市民や転入者が、結婚や子育てを含めて希望する暮らしを実現し、生涯にわたって活躍ができる環境を整備する必要がある。

このため、若い世代の仕事と子育ての両立や高齢者や障害者を含め、地域のつながりと支え合いの中で、生涯にわたり誰もが安心して学び活躍できる環境づくりや健康づくりを推進し、人生100年時代に向けた暮らしの質（QOL）の向上や「健康都市 白山」の実現を図る。

また、これまでの子育て支援や教育環境向上等の各種施策を継続的に改善し、「ひと」の出会い・結婚・妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するとともに、豊かな自然に触れながら、地域で子どもたちを育てられる環境を整備し、自然豊かな教育環境の中で子育て世代や子どもたちが本市の魅力や愛着を感じられる地域づくりを推進することにより、子育て世代や出生数の増加を目指す。



赤ちゃんおむつクーポン



学校図書館司書を全校配置

成果指標

出会いの場から妊娠・出産・子育てまで切れ目のないサポートを推進するとともに、多様な働き方の普及やワーク・ライフ・バランスの改善などの各種施策の展開により、安心して産み育てられる環境づくりを推進し、出生数の維持を図る。

また、生涯にわたり主体的・効率的に学ぶことができるようデジタルを活用し、学習環境の利便性向上を図る。

成 果 指 標	基準値（R5）		目標値（R9）	
年間出生数	746 人		750 人	
健康寿命（平均自立期間） 【参考（R4）】男性＝国 79.7 歳、県 80.2 歳 女性＝国 84.0 歳、県 84.3 歳	男性	81.1 歳	男性	81.5 歳
	女性	85.6 歳	女性	86.0 歳
電子図書館タイトル数	4,216		4,500	

施策の基本的方向

(1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実

出会いの場の創出などにより、結婚を希望する人の非婚化、晩婚化の解消を図るとともに、妊娠・出産に向けた支援や、育児に対する不安の解消や多様なニーズに応えた子育て支援などにより、安心して産み育てられる環境づくりを推進し、出生数の増加を図る。

(2) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

どの地域に暮らしても安心して医療が受けられる体制を整備するとともに、本市の豊かな食などを活かした健康づくりや地域で支え合う体制を構築することにより、誰もが住み慣れた場所で、安心して、健康に暮らし続けられる地域づくりを推進する。

(3) 誰もが安心して活躍できる環境の充実

育児・介護休業の取得促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、柔軟な働き方の普及等を通じて、男女ともに働きやすい環境を創出するとともに、中高年者や障害者を含め、誰もが安心して生活し、活躍できる社会づくりを推進する。

(4) 子どもから高齢者まで生涯学び続けられる教育環境の充実

豊かな自然・文化などの体験や、安心して学べる環境の整備、生涯学習やリスキリング※の推進を図り、本市を担う人材を育成するとともに、市民が本市の魅力を理解することにより、郷土への愛着や地域との^{きずな}絆を醸成する。

※リスキリング：新しい環境に適應するために必要なスキルを習得すること。

白山手取川ジオパークの豊かな自然と 歴史・文化を活かした「観光・交流」創生

本市は、白山・手取川・日本海に育まれた豊かな自然環境や観光資源を有するとともに、祭りや食文化など地域固有の歴史・文化が色濃く残っている。また、「文化創生都市 白山」として、地域に息づく文化のエネルギーを基に、新たな魅力と輝きを生み出すまちづくりに積極的に取り組んでいる。さらに、大学などの教育機関をはじめ、産学官民の連携による地域の課題解決などの取組も進めている。近年は、定住・移住施策の効果により、周辺都市から転入超過を維持しており、さらなる拡大や定着を図るため、本市の豊かな自然や歴史・文化などを活かし、本市で暮らしたい、訪れたいと希望する人材を積極的に招き入れ、新たな賑わいや活力を創出する必要がある。

このため、本市の魅力をさらに磨きつなぎ合わせて、白山ブランドの確立を図るとともに、デジタル技術の活用などにより、市内外の人を惹きつける魅力の発信及び受け入れ態勢を強化し、外国人を含め市外からの観光誘客や移住などにより、交流人口のみならず、関係人口の拡大を図り、市内での循環（市内の回遊、地域間の交流など）を促進することで、新しい人の流れを創出する。



ユネスコ世界ジオパークの認定



トレインパーク白山

成果指標

本市の豊かな自然や歴史・文化などの魅力を活かし、白山ブランドを確立するとともに、多様な人材の受け入れ態勢の整備や学生の定着化の促進などの各種施策の展開により、移住・定住や市内外の交流を促進し、転入者の増加及び交流人口の拡大を図る。

成 果 指 標	基準値（R5）	目標値（R9）
人口の社会増減数	3年間で 転入超過 379 人（R3～R5）	3年間で 転入超過 750 人（R7～R9）
観光入込客数	3,861,927 人	4,220,000 人

施策の基本的方向

(1) 観光資源の魅力の発信と受入態勢の強化

デジタル技術を活用するなどして、白山手取川ユネスコ世界ジオパークをはじめとする多様な地域の観光資源の魅力を向上させるコンテンツ作りや観光誘客に取り組むとともに、地域の実情に応じた観光地域づくりを推進する観点から、観光地域づくり法人（DMO）と連携して、着地整備の取組を行った地域や事業者の魅力発信、プロモーションを推進する。

(2) 山・川・まち・海の魅力を活かした交流人口※の拡大

白山・手取川・日本海の豊かな自然や歴史・伝統・文化のほか、道の駅やスキー場、温泉施設、鉄道等の様々な地域資源を活かしたイベントの開催や観光・交流拠点の整備等により、地域の魅力をさらに高め、交流人口の拡大を図る。

※交流人口：その地域を訪れる人の数。

(3) 外部人材による賑わい創出に向けた関係人口の拡大

本市の出身者をはじめ様々な縁のある方とのつながりを継続的に確保し、関係を強化するとともに、大学や民間企業等の様々なネットワークを活かし、大都市圏や訪日外国人など地域外の方との新たなつながりを築くことにより、賑わい創出に向けた新たな担い手の確保、関係人口の拡大を図る。

(4) 産学官金労言等の連携による地域活性化の推進

地元の大学等へ進学し、卒業生が市内企業に就職することで、若者の定着を図るとともに、地域の人々や産学官金労言等のステークホルダーとなる企業・団体と連携し、交流の活発化やネットワークの拡大などを進めることで、地域の課題解決や経済の発展を図る。

(5) 移住・定住を支える事業・制度の充実

空き家など良好な既存ストックの活用促進や新たな住宅地の整備に取り組むとともに、移住・定住を支援する仕組みの充実や移住体験などのきっかけづくりなどにより、移住・定住を促進する。

本市は、県内で上位となる工業従業者数や製造品出荷額を有しており、女性の就業率は県内最高水準を誇る一方、大学進学等により 10 代後半～20 代前半の若い世代の転出が顕著で、全国的な生産年齢人口の減少もあり、企業の人手不足が懸念されている。就職を機にふるさと白山で豊かな生活を送りたい人々の希望を実現するとともに、企業の人手不足解消のためにも、多様かつ安定した雇用の場の確保が必要である。また、本市は、白山や日本海の恩恵を受けた豊かな水と農林水産資源を有し、醸造をはじめとした伝統的な発酵食品文化がある。

このため、既存の産業基盤を活かしつつ、企業における ICT 化の推進など市内企業の振興を図るとともに、企業誘致や多様な働き方の推進に取り組む。また、商店街の活性化や、農林水産資源及び伝統産業を活かした 6 次産業化やブランド化、スマート農業やオーガニックビレッジ※の推進などにより、地域内外での経済循環を生み出す仕組みを構築することで、新しい「しごと」（雇用）の場と安心して働ける環境の創出を図り、若者や女性から居住地として選ばれやすいまちを目指す。

※オーガニックビレッジ：有機農業の生産から消費まで一貫して地域ぐるみで取り組む市町村のこと。



本市に立地する工業団地



新たに開発された商品

成果指標

魅力ある農林水産業や商工業の振興を図るとともに、多様で付加価値の高い産業の集積や新たな産業の創出・人材還流を見据えた企業誘致の推進などの各種施策の展開により、市民の働く場を確保し、市内従業者数の増加を目指すとともに、女性の社会進出を支援する。

成 果 指 標	基準値（R5）	目標値（R9）
市内従業者数	57,952 人（R3）	60,000 人（R8）
女性の就業率	54.5%（R2）	55.5%（R7）

施策の基本的方向

(1) 白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

本市には白山の恵みを受けた「山の幸」「海の幸」だけでなく、それらを活かした白山菊酒や酢、豆腐、ふぐの糠づけなど、伝統的な技法を使った特産品が数多く存在し、豊かな食文化がある。これらの資源を活かし、オーガニックビレッジの推進に取り組むとともに、6次産業化やブランド化、観光客向け商品の創造による付加価値の向上などに取り組み、生産・加工・販売・消費のサイクルの促進により、地元農林水産物の消費拡大及び第一次産業の所得向上を図る。さらに、スマート農業の促進や、農林水産業の生産基盤の整備・充実を図り、産業の安定した発展を支援する。

(2) 中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

本市の基幹産業である機械・電子関連などの既存産業の維持・成長を図りつつ、新たな産業・事業の創出による規模の拡大を図るとともに、本市が誇る伝統産業の振興や商店街の活性化、中小企業の経営支援、観光客による消費拡大などを通じて、地域の雇用と経済の維持・拡大を図る。

(3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

企業誘致に向け、山島工業団地をはじめとする既存工業団地の情報発信や企業ニーズに応じた各種支援の充実を図るとともに、需要に応じた新たな工業団地の整備やU I Jターン希望者とのマッチング、多様な働き方の推進などにより、大都市からの人材の還流を図る。

本市は、平野部3地域（松任・美川・鶴来）と白山ろく5地域（河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰）によって構成されているが、人口減少や少子高齢化により、特に白山ろく地域を中心として集落のコミュニティ機能や住民の生活に必要なサービス機能の低下等が予測されている。こうした中、近年は自然災害が激甚化・頻発化しており、地域同士の連携や、市民と行政の協働により、複雑化・多様化する地域や社会の課題に対応する必要がある。

このため、本市の魅力である8つの地域特性を守りながら、地域住民が主体となったまちづくりを展開するとともに、地域間及び広域的なネットワークの強化、デジタルの活用により、白山ろく地域を含む全ての市民がいきいきと快適に暮らすことができる地域づくりを推進する。また、多様な主体の連携と協働により、災害に対するハード・ソフト両面の対策や豊かな自然と調和した生活環境の整備充実、ゼロカーボンの推進に取り組むことで、市民が地域に誇りと愛着を持ち、安全で、安心して暮らし続けることができる持続可能な地域社会の構築を目指す。



白峰の町並み



防災訓練のようす

成果指標

安全・安心で魅力と愛着のある地域づくりにつながる各種施策の展開により、市民が住み良い、住んで良かったと感じる「まち」づくりを推進し、住み良いと感じる市民の割合を高め、人口の維持を図る。

成 果 指 標	基準値（R6）	目標値（R9）
住み良いと感じる市民の割合※	81%	現状維持

※市民アンケート調査結果において、「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した割合

施策の基本的方向

(1) 生活基盤の充実と持続可能な社会の推進

交通安全と防犯の向上を図るとともに、公共交通の利便性を高め、社会インフラをはじめとした既存ストックの計画的な更新などにより、安全で暮らしやすい生活環境づくりを推進し、定住人口の増加を図る。また、ゼロカーボンの推進やデジタル技術の活用により、持続可能な社会を目指す。

(2) 地域の防災力向上に資する取組の推進

これまでの災害の教訓を活かし、災害に対する十分な備えと緊急時に的確に対応できる体制を構築するとともに、デジタル技術の活用による情報発信を強化し、自助・共助・公助の役割に基づく地域における防災力を高め、市民の生命や財産を守る。

(3) 魅力と愛着のある地域づくりの推進

特色ある文化・景観などを活かした取組やそれぞれの長所を活かした広域的な連携を進め、魅力ある地域づくりを進める。また、コミュニティを支える人材の育成や市民が主体的に地域課題の解決に取り組める環境の整備など、地域に対する誇りや愛着（シビックプライド）を醸成し転出者の縮減を図るとともに、市民が誇りをもって暮らせる地域づくりを推進する。

(4) 白山ろく地域の活性化

白山ろく地域では、人口減少や少子化・高齢化が顕著に進行しており、産学官民の連携により、農林業や観光産業など地域資源を活かした産業の振興や魅力の発信に取り組むとともに、日常生活における安全・安心な地域環境の維持・充実などにより、移住・定住の促進を図る。

3) 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）

基本目標 1	安心して子どもを産み育て生涯活躍できる 「子育て・教育」創生
-----------	-----------------------------------

(1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実

①出会いの場の創出

・ 様々な出会いの場の提供などにより、結婚に対する意識高揚を図り、非婚化・晩婚化の抑制に努める。		
取 組 内 容		
○婚活イベントやセミナー等の開催による出会いの場の提供		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
婚活イベントでのカップル成立数	5 件	10 件

②妊娠・出産に向けた支援の充実

・ 妊娠から産前・産後まで、母子ともに健やかに過ごせるような支援を充実させるとともに、不妊・不育治療への支援の充実により、子どもを産みやすい環境づくりを推進する。		
取 組 内 容		
○妊産婦や乳幼児の健診受診の促進		
○産前・産後の支援		
○不妊治療に対する支援		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
不妊治療費助成事業の利用件数	170 件	210 件

③子育て環境の充実

・ 保育の多機能化や、子育てに関する経済的な負担の軽減など、幅広い支援体制の充実を図ることで、子育てがしやすい環境づくりを推進する。		
取 組 内 容		
○休日小児医療の診療体制の充実		
○多様な子育てサービスの充実		
○子育てに関する経済的負担の軽減		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
一時保育の延べ利用児童数	1,732 人	2,500 人

④地域ぐるみで行う子育てへの支援

・育児に関する相談体制の確保による支援を充実するとともに、三世代の同居の促進により、子育て中の親の孤独感や不安感の解消を図る。		
取 組 内 容		
○子育てに関する相談体制の確保		
○地域子ども・子育て事業の推進		
○三世代同居の支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
子育てひろばの延べ利用数	47,085 人	44,481 人

⑤デジタル技術を活用した子育て支援

・核家族化が進む中で、子育て世代が子育てに関する情報入手や情報交換をしやすいするため、アプリ等の活用を推進する。		
取 組 内 容		
○広域子育てアプリの活用		
○子育て支援アプリによる効果的な情報提供		
○小児予防接種のデジタル化		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
小児予防接種デジタル予診票の利用率	—	65 %

(2) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

①医療体制の充実

・医療機関の受診が困難な方の適切な医療を確保するとともに、夜間や祝休日等でも診察を受けられる医療環境の充実を図る。		
取 組 内 容		
○地域医療体制の充実		
○緊急医療体制の充実		
○広域による夜間小児科診療の充実		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
公共施設に設置されたA E Dの台数	191 台	200 台

②健康寿命の延伸

・生活習慣病の早期発見及び保健指導による生活習慣の改善並びに生涯スポーツ、健康生活支援企業との連携や食を通じた健康づくり、データ分析による身体機能の維持改善により、健康寿命の延伸を図る。		
・元気なうちから様々な社会活動への参加や、ウォーキング・トレーニング機器等を用いた健康づくり、介護予防体操等に取り組むことで、介護予防の推進を図る。		
取 組 内 容		
○各種検診や保健指導の充実		
○食を通じた健康づくりの推進		
○介護予防の推進		
○健康生活支援企業との連携		
○ウォーキングなど日常的な運動を通じた健康づくりの推進		
○生涯スポーツの実践やトレーニング機器等を活用した健康づくりの推進		
○認知機能チェックと運動プログラムを連携させた認知症予防の取組の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
特定健診の受診率	46.5 %	62.5 %

(3) 誰もが安心して活躍できる環境の充実

①仕事と家庭の両立への支援

・多様なニーズに対応した保育サービスや放課後児童クラブの運営の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスに積極的な取組を行う企業の表彰や、経営者への意識啓発により働き方の改善を促進することで、仕事と家庭の両立を支援する。		
取 組 内 容		
○育児・介護休業や職場復帰等がしやすい環境づくりの促進		
○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む事業所の促進		
○経営者への意識啓発		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
延長保育の延べ利用児童数	11,564 人	20,000 人

②共生のまちづくりの推進

・全ての市民が障害の有無にかかわらず、人格と個性を尊重し、共に生きる環境づくりに向け、コミュニケーション手段の普及啓発や就労への理解促進に取り組む。		
取 組 内 容		
○コミュニケーション手段の普及啓発		
○障害者等の就労に関する理解促進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
講座を通じてコミュニケーション手段への理解が進んだ受講者の割合	—	60 %

③インクルーシブな社会の実現

・女性をはじめ、中高年者や障害者など、誰もが安心して活躍できる環境や支援体制を充実する。		
取 組 内 容		
○保育や教育における相談、支援体制の充実		
○女性の社会参加と活躍できる環境整備への支援		
○審議会等の女性参画の推進		
○高齢者や障害者が安心して生活できる社会づくり		
○高齢者が生きがいを持ち活躍できる場の充実		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
審議会等の女性登用率	31.6 %	35.0 %

1. 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「子育て・教育」創生

④地域で支え合う体制づくり

・地域包括ケアシステムの推進やデジタル技術を活用した見守りなどにより、住み慣れた場所で、安心して暮らし続けられる福祉体制の充実を図る。		
取 組 内 容		
○福祉団体活動の充実		
○地域包括ケアシステムの推進に向けた取組の充実		
○デジタル技術を活用した見守りの推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
地域ケア会議の開催回数	48 回	55 回

(4) 子どもから高齢者まで生涯学び続けられる教育環境の充実

①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進

・食育や情操教育を推進するとともに、新聞を活用した授業や、豊かな自然や文化に触れる体験活動など、本市独自の教育活動等を通じ、郷土を思う意識や愛着を深める教育を推進する。 ・スポーツに親しめる環境づくりなどにより、健康を維持・向上する体力づくりを推奨する。		
取 組 内 容		
○地産地消による食育の推進		
○情操豊かで互いに思いやる心の育成		
○新聞を活用した学校教育の推進		
○白山手取川ユネスコ世界ジオパークを活用した学習の推進		
○野外体験活動の機会増加の推進		
○市内高等学校の魅力アップ支援		
○地域の文化や自然への理解を深める体験活動の推進		
○スポーツに親しめる環境づくり及びジュニア競技の育成・強化の推進		
○スポーツ施設の整備及び活用		
○中学校部活動の指導員の確保及び団体や地域等との連携		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
スポーツ施設の延べ利用者数	859,226 人	1,050,000 人

②誰もが安心して学べる環境の整備

・経済的な理由や通学が困難な地域の児童・生徒等に対する各種支援や学習環境の充実を図るとともに、パソコン配備によるICT化など、誰もが安心して学べる環境づくりを推進する。		
取 組 内 容		
○学習環境に対するきめ細かい支援（少人数教育の推進・外国語教育の充実等）		
○小中学校のICT化の推進		
○教育の経済的負担に対する各種支援		
○遠距離通学者への支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合	小学校 85.4 %	小学校 90 %
	中学校 85.4 %	中学校 90 %

1. 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「子育て・教育」創生

③生涯学習・リスキリングの推進

・様々な生活環境や地域に根差した歴史や文化があり、そこに暮らす子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた生涯学習を推進する。		
取 組 内 容		
○学習機会の充実		
○生涯学習ネットワークの構築		
○図書館サービスの充実		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
図書館の延べ利用人数	390,361 人	400,000 人

基本目標
2

白山手取川ジオパークの豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生

(1) 観光資源の魅力の発信と受入態勢の強化

①白山手取川ユネスコ世界ジオパーク及び白山ユネスコエコパークの観光資源を活用した観光誘客

- ・国立公園白山や白山手取川ユネスコ世界ジオパーク、白山ユネスコエコパークを保護しつつ、観光資源として活用するため、生態系の保全と持続可能な利活用の調和に配慮して受入環境の充実を図るとともに、環白山地域と連携して、コンテンツづくりや情報発信に取り組む。

取 組 内 容		
○白山手取川ジオパークの自然、文化、歴史の活用		
○国立公園白山と周辺観光地域が連動した観光地づくりの推進		
○観光文化拠点施設の整備などを通じた受入環境の充実		
○特色ある食のコンテンツの充実		
○国内、国外への観光情報の発信		
○質の高い観光ガイド等の人材育成		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
着地型旅行商品の利用者数	2,529 人	3,500 人

②白山総合車両所や企業等を活用した産業観光の推進

- ・周辺市町と連携し、白山総合車両所の最先端の技術や周辺企業のものづくりの魅力、伝統産業や産業遺産などを観光資源とした産業観光の推進を図る。

取 組 内 容		
○能美市、野々市市、川北町の観光資源と連携した観光誘客の推進		
○ものづくり産業の観光客受入態勢の推進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
産業観光に関する着地型旅行商品の利用者数	135 人	300 人

2. 白山手取川ジオパークの豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生

③観光消費拡大等に向けた情報発信、受入環境の整備

・観光消費拡大に向け、インバウンド※を含めた観光客に向けた情報発信や受入態勢の整備・強化を図る。		
取 組 内 容		
○キャッシュレス対応、多言語対応、無料Wi-Fi等の整備		
○外国人対応の観光案内所、公衆トイレ等の機能強化		
○二次交通の維持・充実		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
外国人宿泊客数	1,853 人	4,000 人
はくさん定期観光バス利用促進クーポンの使用枚数	1,072 枚	1,200 枚

※インバウンド：外国人の訪日旅行や訪日旅行者。

④自然、文化、スポーツ等を活用した文化観光・ツーリズムの推進

・地域独自の歴史、自然、芸能などの文化とスポーツ施設を活用し、文化観光やスポーツ観光を推進する。		
取 組 内 容		
○歴史・自然遺産等を観光資源とした文化観光・ツーリズムの推進		
○レンタサイクルのツーリズムへの活用		
○文化、スポーツ等の大会開催による観光客の誘客		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
関係項目（文化歴史・イベント・スポーツ・自然）における観光入込客数	1,640,943 人	1,790,000 人

⑤デジタル技術を活用した観光誘客及び魅力向上

・観光産業に携わる事業者や団体等が、データを活用・分析して戦略的な観光誘客策を展開できるように取り組むとともに、デジタル技術を活用して観光情報の発信を強化する。		
取 組 内 容		
○各種データの活用による観光商品の開発		
○SNSやデジタルサイネージ等を活用した観光情報の発信		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
公式観光サイト「うらら白山人」のアクセス数	425,086 件	455,000 件

(2) 山・川・まち・海の魅力を活かした交流人口の拡大

①地域資源を活かしたイベントの開催

・山・川・まち・海などの地域資源を活かし本市の魅力を広く発信するとともに、滞在・体験活動や各種イベントへの支援により、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○自然や農林水産業、伝統芸能等の体験活動への支援		
○地域イベント（祭りなど）への支援		
○白山ブランドの周知及び利用促進に対する支援		
○市内で開催される合宿や修学旅行等に伴う宿泊に対する支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
地域イベントの誘客人数（概数）	125,200 人	143,000 人

②交流拠点となる施設の整備及び利活用の促進

・道の駅やスキー場・温泉などの交流拠点となる観光・文化施設の整備・充実を図るとともに、その魅力を広く発信することで、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○既存施設の整備・充実		
○交流拠点の利用促進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
道の駅※の延べ利用者数 ※ 瀬女、一向一揆の里、しらやまさん、めぐみ白山	678,973 人	695,000 人

③自然、歴史、文化などを活かした地域の魅力の向上と発信

・地球規模の資源や自然遺産を保護しつつ、豊かな自然環境を体験する機会を創出する。 ・長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた貴重な文化財を保全・活用することで、本市の歴史や文化を次世代に継承し、地域の魅力向上や郷土愛の醸成を図る。 ・歴史や文化などの魅力の発信、芸術文化の振興により、地域の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○豊かな自然環境を活かした体験活動の実施及び支援		
○国指定文化財等※の登録数の増加と文化財保全活動に対する支援		
○博物館等文化施設における歴史・文化・芸術発信の充実		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
博物館等文化施設の延べ来館者数	173,598 人	202,000 人

※国指定文化財等：国指定・国選定・国登録文化財。

2. 白山手取川ジオパークの豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生

④ まちなかの賑わいの創出

・ 駅周辺や既存商店街などの中心市街地におけるイベント開催や活性化に向けた取組を支援することにより、まちなかの賑わいの創出を図る。		
取 組 内 容		
○次世代の感性を取り入れたまちなかの活性化		
○まちなかの賑わい創出につながるイベントに対する支援		
○地産地消を推進するイベントの開催		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
商店街が実施する賑わい創出イベントへの補助件数	4 件	4 件

⑤ トレインパーク白山の活用による広域観光の強化

・「鉄道のまち」として新幹線や民間鉄道などの鉄道関連施設が立地することに加え、トレインパーク白山の開業により、高速鉄道技術を身近に体験することができる環境が整ったことを活かし、インバウンドを含む観光客等の受け入れや広域観光の強化を図る。		
取 組 内 容		
○鉄道関連施設の活用促進		
○鉄道のまち白山P R事業の推進		
○駅周辺整備の推進		
○アクセス道路整備の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 6）	目標値（R 9）
トレインパーク白山の延べ来場者数（1～12月）	191,957 人	190,000 人

(3) 外部人材による賑わい創出に向けた関係人口の拡大

①本市出身者等との関係強化

・本市の出身者や元在住者、ふるさと納税等を通じて関心がある方に対し、地域と継続的なつながりを持つ機会や情報などを提供することにより、連携強化を図る。		
取 組 内 容		
○本市出身者などへの定期的な情報提供などの働きかけとネットワークの構築		
○ふるさと納税による継続的なつながりの確保		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
ふるさと納税額	403,962 千円	600,000 千円

②地域づくりの担い手となる地域外人材の確保

・本市と関わりのある個人や企業、高等教育機関、しらみね大学村※などの各種団体、友好都市などの地域外の人材に、本市の地域課題の解決や地域づくりに向けた担い手となって応援してもらえるよう、連携強化や新たなつながりの創出を図る。		
取 組 内 容		
○観光特使などゆかりのある個人をはじめ各種団体等と連携した地域課題の解決		
○郷土会活動への支援		
○友好都市間交流の推進		
○国際交流組織の機能充実と連携強化		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
白山市観光特使の委嘱者数	75 人	90 人

※しらみね大学村：石川県内の大学を中心に、全国の大学の学生が参加して、白峰地域で地域活性化活動に取り組むサテライトサークル。

(4) 産学官金労言等の連携による地域活性化の推進

①市内・県内での進学や就職の促進

・魅力ある大学づくり等への支援により、地元大学への進学を促進するとともに、学生と企業のマッチングにより、学生の卒業後の市内への定着を促進する。		
取 組 内 容		
○大学等の魅力向上による地元大学への進学促進		
○市内就職を促進する求人確保とマッチング機会の提供		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
市内大学卒業者の市内企業就職率	12.9 %	16.0 %

②大学等と地域や企業との連携の強化

・県内の大学等と企業との連携により、地域の課題解決に取り組み、地域産業や地域の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○SDGs 未来都市計画関連事業の推進		
○大学等との連携による Society5.0 を活用した地域産業の振興		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
大学・地域等との連携事業数	44 件	55 件

(5) 移住・定住を支える事業・制度の充実

①移住・定住施策の推進

・良好な住宅地の整備を進め、市外からの転入者に定住支援することにより、転入者の増加や転出者の縮減に努め、本市全域的に社会動態の維持・向上を図る。		
取 組 内 容		
○市外からの定住者への住宅購入費等の支援		
○土地区画整理事業による宅地の整備促進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
定住促進奨励金制度を利用した市外からの転入者数	1,238 人	1,300 人

②受入態勢の強化及び情報発信

・移住に関する情報発信や受入態勢の強化により、移住しやすい環境づくりを推進する。		
取 組 内 容		
○移住体験の実施		
○移住相談窓口を通じた支援		
○緑のふるさと協力隊や地域おこし協力隊の受け入れ		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
短期移住体験宿泊事業の利用者数	8 人	12 人

③空き家バンクの活用促進

・増加する空き家の適正管理を推進し、移住・定住・二地域居住の受け皿としても活用するため、空き家バンク制度を拡張し、所有者・利用者双方が利用しやすい環境を整備する。		
取 組 内 容		
○空き家バンク制度の拡張		
○空き家バンクを利用しやすい環境の整備		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
空き家バンク制度を利用した成約件数	20 件	24 件

基本目標 3

商工業の集積と農林水産資源を活かした 「仕事・雇用」創生

(1) 白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

①オーガニックビレッジの推進

・ 自然環境への配慮や地産地消、安全安心な食の提供などの観点から、農業従事者をはじめ事業者や消費者を巻き込み、有機農業の生産から消費までの一貫した取組を推進する。		
取 組 内 容		
○有機農業の取組の拡大		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
有機農業に取り組む農地の面積	45.2 ha	63.3 ha

②スマート農業の促進

・ 営農面積の拡大や経営基盤強化に対応するため、ロボットやドローン等のスマート農業技術の導入を促進し、効率的な生産体制の構築を図る。		
取 組 内 容		
○スマート農業技術を活用した農作業の効率化等の支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R6）	目標値（R9）
スマート農業技術による施肥を試行実施する農地の面積	2 ha	30 ha

③農林水産物の販売促進及び付加価値の向上

・ 環境保全型農業への取組や園芸作物の産地化、生産・加工・販売による6次産業化などの付加価値の向上を図るとともに、農林水産物や加工品のブランド化、生産者自らによる販売促進等に取り組む、所得の向上を図る。		
取 組 内 容		
○環境保全型農業の取組に向けた支援		
○園芸作物の産地化や経営の複合化に向けた支援		
○地元農産物販売施設設置による園芸振興		
○持続可能な所得を確保できる農業経営の支援		
○6次産業化の取組支援		
○農林水産物や加工品のブランド認証の推進		
○地域産材の利活用の促進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
環境保全型農業支援対策事業の取組面積	104.6 ha	115 ha

④新たな地域特産品の開発及び販売促進

・白山の豊富な地域資源を活かした農商工連携による特産品の開発を推進するとともに、既存の特産品の販売促進に取り組み、地域経済の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○白山菊酒など特産品の普及に向けた支援		
○酒造メーカーが求める酒米生産に対する支援		
○ジビエ※の普及・促進及び安定供給の確保		
○中山間地域の振興作物である「そば」の安定した品質・収量確保に対する支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
中山間地域における「そば」の作付面積	49.2 ha	60.8 ha

※ジビエ：シカ、イノシシなど狩猟によって食材として捕獲される野生鳥獣やその肉。近年、積極的に料理に活用し消費を拡大していこうという取組が各地で進んでいる。

⑤担い手の確保及び生産基盤の充実

・農林水産業の担い手の確保を積極的に推進するとともに、担い手が安定的に生産活動を行える基盤を充実し、農林水産業の振興を図る。		
取 組 内 容		
○新規就農者の確保及び経営基盤の強化に向けた支援		
○農地の集約化や農業用機械・施設の整備への支援		
○集落ぐるみでの鳥獣害対策の推進		
○中山間地域の農業生産の維持と多面的機能の確保		
○水産資源の確保と漁港の適正管理		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
農業次世代人材投資資金の受給者数	10 人	13 人

(2) 中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

①中小企業の育成及び競争力強化

・地域の雇用と経済を支える中小企業の近代化・合理化による経営基盤の安定化を図るとともに、人材の確保及び育成を支援し、地域活力の活性化を図る。 ・各企業が有する技術や製品の国内外に向けた販路開拓活動を支援するとともに、新製品の開発など新たな事業活動の促進による産業の活性化を図る。		
取 組 内 容		
○設備投資や経営基盤の安定化に対する支援		
○キャッシュレスなどデジタル化の推進		
○技術者の表彰などによる技術水準の向上と人材の育成		
○受注拡大や新規取引先の開拓に向けた国内外の見本市などへの出展支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
中小企業設備投資促進事業の新規利用件数	4 件	4 件

②創業支援の推進

・産業の活性化や新たな雇用創出を図るため、創業に対する総合的な支援や、空き店舗等を活用した起業家に対する支援を行う。		
取 組 内 容		
○経済団体等との連携強化による創業希望者への総合的な支援		
○創業時における空き店舗等の利活用の支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
起業家支援補助金の申請件数	15 件	20 件

③商店街の活性化

・商店街の賑わい創出を図るため、商店街事業者が意欲的に取り組む活動や事業承継を支援し、商店街全体の魅力の向上と活性化を図る。		
取 組 内 容		
○商店街イメージアップへの支援		
○事業承継にかかる支援		
○商店街空き店舗活用への支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
商店街新規出店事業に係る補助金の申請件数	2 件	2 件

④若者や女性への就労等の支援

・若者や女性が安心して働き続けられる環境を創出するため、奨学金返還中や育児休業中の支援、再就職の支援など、安定的な生活基盤を支えるための就労をサポートする。		
取 組 内 容		
○育児休業等生活資金融資の促進		
○女性への再就職、就業支援セミナーの実施		
○奨学金を返還する従業員を支援する企業のサポート		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
市内で実施する女性向け就業支援セミナーの参加者数	37 人	40 人

(3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

①新たな雇用の創出に向けた企業誘致の推進

・企業ニーズを把握し、市内工業用地の整備やPR、各種支援により、サテライトオフィスを含めた企業誘致を推進し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。		
取 組 内 容		
○工場建設や用地取得、市民雇用に対する支援		
○本社機能の移転促進に向けた支援		
○工業団地の整備及びPRの推進		
○空き家等を活用したサテライトオフィスの誘致		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
市内工業団地等への立地件数（累計）	16 件	23 件

②市内企業における就労の拡大と人材の確保

・UIJターン希望者や地元の高校・大学等に通う学生に対し、市内企業の各種情報を提供することにより、市内企業への就労の拡大と人材の確保を図る。 ・労働力不足への対応として期待される外国人労働者の活用促進に向け、生活環境を含めた受入環境の充実を図る。		
取 組 内 容		
○UIJターン希望者や就職希望者に対する市内企業の求人情報の提供		
○白山市合同就職説明会の開催		
○中高齢者への就職支援		
○外国人労働者に対する受入環境の充実		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
白山市合同就職説明会の参加者数	57 人	60 人

③多様な働き方の推進

・若者や女性、二地域居住をする方などが多様で柔軟な働き方ができるよう、コワーキングスペース等の拠点の活用を支援する。		
取 組 内 容		
○コワーキングスペース活用の推進		
○多様な働き方に対応した市内拠点設置への支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
市内に設置されているコワーキングスペースの数	0 か所	1 か所

基本目標
4

地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ
「都市・地域」創生

(1) 生活基盤の充実と持続可能な社会の推進

①公共交通の利便性の向上と利用促進

・市民の生活の足である公共交通のさらなる利便性の向上と利用促進を図り、持続可能な運行を確立する。

取 組 内 容

○在来線駅の利便性の向上

○公共交通の利便性の向上（コミュニティバス、路線バス、北陸鉄道石川線）

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
コミュニティバスの1日平均利用者数	579 人	625 人
北陸鉄道石川線の市内駅1日平均乗降客数	1,738 人	1,850 人

②社会インフラをはじめとした既存ストックの計画的な更新

・公共施設や住宅、既存のインフラの有効活用と計画的な更新を図るとともに、白山市国土強靱化地域計画を推進し、快適で安全安心なまちづくりに努める。

取 組 内 容

○空き家対策の推進

○特定危険空き家の除却や危険ブロック塀の撤去の促進

○住宅の耐震化の促進

○公共施設の長寿命化の推進

○道路・橋りょう等の長寿命化の推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
空き家改修等補助事業の利用件数	16 件	20 件

4. 地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生

③安全で快適な生活基盤の整備

・交通安全と防犯の向上を図るとともに、情報インフラの整備による市内での情報格差の是正を図り、どの地域においても、安全で快適な生活基盤の整備を推進する。		
取 組 内 容		
○交通安全・防犯対策の推進		
○防犯カメラ設置の推進		
○情報基盤の整備		
○I C T等の活用		
○Society5.0の推進		
○冬季間の雪害対策への支援		
○道路の狭 ^{きょうあい} 隘区間の解消		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
防犯カメラの設置台数（累計）	170 台	200 台

④ゼロカーボンの推進

・森林資源や水資源、地熱などの豊かな自然資源を活用して地産地消型の再生可能エネルギー源を構築し、クリーンエネルギーの活用を推進する。		
取 組 内 容		
○地産地消型エネルギー源の構築		
○グリーントランスフォーメーション（GX）※の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
地産地消型エネルギー供給・消費体制の構築件数	—	1 件

※GX：化石燃料中心の経済・社会、産業構造をクリーンエネルギー中心に転換していく、経済社会システム全体の変革への取組。

⑤デジタル技術を活用した行政サービスの提供

・窓口での申請書作成や行政情報の管理・発信等にデジタル技術を活用し、市民の利便性向上、行政運営の簡素化・効率化を図る。		
取 組 内 容		
○デジタル化による「書かない窓口」の推進		
○電子申請サービスの拡充		
○行政情報の見える化		
○オープンデータの提供及び活用の促進		
○管理システムの導入による除雪業務の効率化		
○生成A Iの活用による行政サービスの充実		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
白山市公式L I N Eの友だち登録者数	30,366 人	33,000 人

(2) 地域の防災力向上に資する取組の推進

①地域防災力の強化

・消防団員の確保や町内会ごとの防災士の育成、自主防災組織の結成などにより、消防団を中核とした地域の防災力の強化を図る。		
取 組 内 容		
○消防団や自主防災組織への支援		
○自主防災リーダー（防災士）の育成		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
防災士の人数（累計）	738 人	1,200 人

②消防・防災基盤の強化

・消防機器や防災備品等を計画的に配置するとともに、安全な避難経路の確保や通信体制の整備、避難施設への防災備蓄品配備などにより、防災基盤の確保を図る。		
取 組 内 容		
○消防団装備の充実・強化		
○デジタル防災行政無線の整備		
○避難施設への防災備蓄品等の配備		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
携帯用トイレの備蓄数	36,000 個	77,000 個

③デジタル技術を活用した防災情報の発信強化

・災害時における情報収集、意思決定、情報発信を一元的に管理する総合防災情報システムを導入し、防災情報の発信や災害対応の強化を図る。		
取 組 内 容		
○総合防災情報システムによる情報発信		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
災害時に一次情報を即時提供する媒体数	6 媒体	8 媒体

(3) 魅力と愛着のある地域づくりの推進

①市民協働で創るまちづくりの推進

・地域の課題解決やコミュニティ力の向上に向け、コミュニティ活動を支える人材や団体の育成を図るとともに、地域コミュニティ組織を支援し、市民との協働によるまちづくりを推進する。		
取 組 内 容		
○地域の課題解決に向けた人材の育成		
○地域コミュニティ組織への支援		
○地域づくり団体や青少年団体の育成		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
各地域コミュニティ組織が自発的に追加または見直しを実施した事業の件数	—	56 件

②連携中枢都市圏の推進

・近隣市町と連携し、圏域全体の経済成長や高次の都市機能の集積・強化を図るとともに、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。		
取 組 内 容		
○圏域全体の経済成長のけん引		
○高次の都市機能の集積・強化		
○生活関連機能サービスの向上		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
連携中枢都市圏における広域連携事業着手数	74 件	80 件

③特色のある文化活動の振興

・各種文化・芸能活動の促進による文化の振興や、同じ地域に住む市民の多文化共生を図る。		
取 組 内 容		
○地域の文化活動への支援		
○国際交流・多文化共生の推進		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
文化振興事業補助金の申請件数	8 件	10 件

④美しい景観の保全と活用

・本市の豊かな自然景観や古くから残る町並みの保全・活用に対する支援を充実することにより、魅力ある景観まちづくりを推進し、郷土への愛着を深める。		
取 組 内 容		
○景観まちづくりの推進		
○白峰重要伝統的建造物群保存地区の保全・活用に対する支援		
○地域の緑化活動の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
景観まちづくり整備事業補助金の申請件数	4 件	4 件

(4) 白山ろく地域の活性化

①地域資源の活用による個性の発揮

・白山ろく地域の独特の風土で育まれてきた食・文化・歴史など、地域資源の活用により個性や魅力を発信する。		
取 組 内 容		
○地域資源の発掘と活用策の推進		
○地域資源の魅力の発信		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
白山手取川ジオパーク推進協議会との連携協定団体数（累計）	25 団体	30 団体

②産業の振興と移住・定住の促進

・農林業などの基幹産業の振興を図るとともに、特産品開発を促進し、自然豊かな環境を活かした魅力の発信により、移住・定住の促進を図る。		
取 組 内 容		
○地産地消や特産品の開発、6次産業化の促進による農林業の振興		
○薬草産地化の推進		
○高等教育機関等との連携による魅力の発信		
○移住・定住施策の充実		
○白山ろく地域における住宅購入費等の支援		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
白山ろく地域定住促進奨励金の利用者数	6 人	10 人

③観光の推進

・スキー場や温泉などの観光拠点の維持・充実を図るとともに、白山手取川ユネスコ世界ジオパークや地域イベントを観光資源として活用するため、活動の支援や拠点整備を推進する。		
取 組 内 容		
○観光拠点の維持・充実による観光産業の振興		
○観光資源としての地域イベント（祭りなど）への支援		
○白山ろく地域におけるジオ観光の拠点整備		
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）
観光入込客数（山と雪のエリア、川と峡谷のエリア）	1,203,038 人	1,315,000 人
スキー場の延べ利用者数	92,393 人	155,000 人

④鳥獣害対策の推進

・野生動物による農作物の被害の軽減と人への危害を防ぐため、鳥獣被害の対策を図る。		
取 組 内 容		
○有害鳥獣対策事業の推進		
○森林保全事業の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
有害鳥獣による農林業被害額	6,019 千円	3,000 千円

⑤安全・安心な地域環境の維持・充実

・日常生活を安心して送れるように、交通体系や教育・福祉・医療環境の充実とともに、雪害や噴火災害など各種災害に対する防災・減災対策を推進する。		
取 組 内 容		
○交通体系の充実		
○教育環境の充実		
○地域福祉や医療体制の充実		
○雪害や噴火災害等への防災・減災対策の推進		
重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 5）	目標値（R 9）
白山ろく地域の高齢者の要介護・要支援認定率	19.7 %	20.7 %

《 参考資料 》

成果指標及び重要業績評価指標(KPI)〔再掲〕

■ 基本目標 1

安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「子育て・教育」創生

成 果 指 標	基準値 (R 5)	目標値 (R 9)	算出方法
年間出生数	746 人	750 人	「白山市統計書」における当該年 1 ～12 月の合計値
健康寿命（平均自立期間）	男性 81.1 歳 女性 85.6 歳	男性 81.5 歳 女性 86.0 歳	白山市民全体の平均寿命から、国保データベースシステムに記録されている市民のうち要介護 2 以上の者の平均余命を減じて算出
電子図書館タイトル数	4,216	4,500	当該年度末時点の数値
重要業績評価指標 (K P I)	基準値 (R 5)	目標値 (R 9)	算出方法
婚活イベントでのカップル成立数	5 件	10 件	子育て支援課が保有する件数の当該年度合計値
不妊治療費助成事業の利用件数	170 件	210 件	白山市不妊治療費助成申請件数、(先進医療)不妊治療費助成申請件数、不育症治療費助成申請件数の当該年度合計値
一時保育の延べ利用児童数	1,732 人	2,500 人	市内実施施設の利用実績の当該年度合計値
子育てひろばの延べ利用数	47,085 人	44,481 人	市内全施設の利用人数の当該年度合計値
小児予防接種デジタル予診票の利用率	—	65 %	当該年度の医療機関報告記録のうち、デジタル予診票の占める割合
公共施設に設置された A E D の台数	191 台	200 台	市立及び市立以外の公共施設への設置数の当該年度末時点の数値
特定健診の受診率	46.5 %	62.5 %	法律で報告が義務付けられている 40 歳～74 歳の受診率
延長保育の延べ利用児童数	11,564 人	20,000 人	市内実施施設の利用実績の当該年度合計値
講座を通じてコミュニケーション手段への理解が進んだ受講者の割合	—	60 %	当該年度の「聴覚に障害のある人へのコミュニケーション支援講座」の事後アンケートで、「理解できた」「どちらかといえば理解できた」と回答した参加者の割合
審議会等の女性登用率	31.6 %	35.0 %	当該年 4 月 1 日時点の市の審議会等における委員数のうち、女性が占める割合（各課に照会して算出）
地域ケア会議の開催回数	48 回	55 回	個別地域ケア会議、自立支援ケアプラン会議、日常生活圏域における地域会議、地域ケア推進会議の開催回数の当該年度合計値
スポーツ施設の延べ利用者数	859,226 人	1,050,000 人	市立施設の利用者数の当該年度合計値
「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合	小学校 85.4 % 中学校 85.4 %	小学校 90 % 中学校 90 %	当該年の「学習状況調査」における回答結果から算出
図書館の延べ利用人数	390,361 人	400,000 人	市立図書館の利用人数の当該年度合計値

■ 基本目標 2

白山手取川ジオパークの豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生

成 果 指 標	基準値 (R 5)	目標値 (R 9)	算出方法
人口の社会増減数	3年間で転入超過 379 人 (R3~R5)	3年間で転入超過 750 人 (R7~R9)	「石川県人口移動統計調査」における社会増減数の直近3年間(10~9月)の合計値
観光入込客数	3,861,927 人	4,220,000 人	「白山市の観光」における当概年(1~12月)の数値
重要業績評価指標 (K P I)	基準値 (R 5)	目標値 (R 9)	算出方法
着地型旅行商品の利用者数	2,529 人	3,500 人	「白山市の観光」に掲載している着地型旅行商品について、当該年1~12月の利用者数の合計値
産業観光に関する着地型旅行商品の利用者数	135 人	300 人	「白山市の観光」に掲載している着地型旅行商品のうち産業観光に関するものについて、当該年1~12月の利用者数の合計値
外国人宿泊客数	1,853 人	4,000 人	「白山市の観光」における当概年(1~12月)の数値
はくさん定期観光バス利用促進クーポンの使用枚数	1,072 枚	1,200 枚	金沢~白峰間の定期観光バス乗車者に交付する観光クーポン券の使用枚数の当該年度合計値
関係項目(文化歴史・イベント・スポーツ・自然)における観光入込客数	1,640,943 人	1,790,000 人	「白山市の観光」における項目別入込客数のうち、4項目の当該年(1~12月)の数値の合計値
公式観光サイト「うらら白山人」のアクセス数	425,086 件	455,000 件	当該年度合計値
地域イベントの誘客人数(概数)	125,200 人	143,000 人	「白山市の観光」における地域イベント(市補助金支出分)の誘客人数の当該年(1~12月)の数値
道の駅※の延べ利用者数 ※瀬女、一向一揆の里、しらやまさん、めぐみ白山	678,973 人	695,000 人	利用者数の当該年度合計値
博物館等文化施設※の延べ来館者数 ※市立博物館、中川一政美術館、ふるさと館、俳句館、ルーツ交流館、呉竹文庫、一向一揆歴史館、うるわし、安楽庵、東二口歴史民俗資料館、恐竜パーク白峰	173,598 人	202,000 人	来館者数の当該年度合計値
商店街が実施する賑わい創出イベントへの補助件数	4 件	4 件	助成件数の当該年度合計値
トレインパーク白山の延べ来場者数	191,957 人 (R 6)	190,000 人	チケット販売実績の当該年1~12月の合計値
ふるさと納税額	403,962 千円	600,000 千円	当該年1~12月の合計値
白山市観光特使の委嘱者数	75 人	90 人	委嘱中の人数の当該年度末時点の数値
市内大学卒業者の市内企業就職率	12.9 %	16.0 %	当該年度の卒業者のうち、市内企業に就職した人数の割合(大学の報告から算出)
大学・地域等との連携事業数	44 件	55 件	事業数の当該年度合計値
定住促進奨励金制度を利用した市外からの転入者数	1,238 人	1,300 人	制度を利用した世帯に属する人数の当該年度合計値
短期移住体験宿泊事業の利用者数	8 人	12 人	白山市短期移住宿泊体験補助金の交付を受けた人数の当該年度合計値
空き家バンク制度を利用した成約件数	20 件	24 件	売買か賃貸借の契約が成約した件数の当該年度合計値

■ 基本目標 3

商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生

成 果 指 標	基準値（R5）	目標値（R9）	算出方法
市内従業者数	57,952 人（R3）	60,000 人（R8）	「経済センサス活動調査」（5 年毎）の数値
女性の就業率	54.5%（R2）	55.5%（R7）	「国勢調査」（5 年毎）における白山市在住の 15 歳以上の女性のうち、失業者を除く労働力人口の割合
重要業績評価指標（KPI）	基準値（R5）	目標値（R9）	算出方法
有機農業に取り組む農地の面積	45.2 h a	63.3 h a	環境保全型農業支援対策事業による有機農業取組面積の当該年度合計値
スマート農業技術による施肥を試行実施する農地の面積	2 h a（R6）	30 h a	グリーンな栽培体系への転換サポート事業による、スマート農業技術（自動操舵システム）を利用した水稻・大麦・大豆栽培における施肥面積の当該年度合計値
環境保全型農業支援対策事業の取組面積	104.6 h a	115 h a	環境保全型農業支援対策事業における環境保全型直接支払制度の対象となる取組を実施する農地面積の当該年度合計値
中山間地域における「そば」の作付面積	49.2 h a	60.8 h a	そば生産向上対策事業によるそば作付面積の当該年度合計値
農業次世代人材投資資金の受給者数	10 人	13 人	農業次世代人材投資事業（経営開始資金）の新規受給者及び継続受給者の当該年度合計値
中小企業設備投資促進事業の新規利用件数	4 件	4 件	当該年度合計値
起業家支援補助金の申請件数	15 件	20 件	当該年度合計値
商店街新規出店事業に係る補助金の申請件数	2 件	2 件	当該年度合計値
市内で実施する女性向け就業支援セミナーの参加者数	37 人	40 人	市内で実施したセミナー（県実施セミナーを含む）の参加者数の当該年度合計値
市内工業団地等への立地件数（累計）	16 件	23 件	企業立地室で把握する新設または増設した工場等の件数の当該年度末時点の累計値
白山市合同就職説明会の参加者数	57 人	60 人	当該年度合計値
市内に設置されているコワーキングスペースの数	0 か所	1 か所	いしかわ「第二のふるさと」推進実行委員会（石川県地域振興課内）が開設するいしかわコワーキングマップHPに掲載されている市内のコワーキングスペース数の当該年度末時点の数値

■ 基本目標 4

地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生

成 果 指 標	基準値 (R 6)	目標値 (R 9)	算出方法
住み良いと感じる市民の割合	81%	現状維持	総合戦略最終年度に実施する「市民アンケート調査」の住み良さに関する質問で、「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した割合
重要業績評価指標 (K P I)	基準値 (R 5)	目標値 (R 9)	算出方法
コミュニティバスの1日平均利用者数	579 人	625 人	当該年度の利用者数から運行日の1日平均を算出
北陸鉄道石川線の市内駅1日平均乗降客数	1,738 人	1,850 人	陽羽里駅以南の駅の当該年度の年間乗降客数から1日平均を算出
空き家改修等補助事業の利用件数	16 件	20 件	当該年度合計値
防犯カメラの設置台数 (累計)	170 台	200 台	市が設置したカメラの当該年度末時点の累計値
地産地消型エネルギー供給・消費体制の構築件数	—	1 件	市民や市内企業がエネルギーを生産し、市民や市内企業がそのエネルギーを消費する体制を構築した件数(エネルギーの生産者と消費者が同じものを除く。)の当該年度合計値
白山市公式 L I N E の友だち登録者数	30,366 人	33,000 人	当該年度末時点の数値
防災士の人数 (累計)	738 人	1,200 人	登録人数の当該年度末時点の累計値
携帯用トイレの備蓄数	36,000 個	77,000 個	危機管理課で備蓄する数の当該年度末時点の数値
災害時に一次情報を即時提供する媒体数	6 媒体	8 媒体	危機管理課から即時提供する体制が整っている媒体数の当該年度末時点の数値
各地域コミュニティ組織が自発的に追加または見直しを実施した事業の件数	—	56 件	地域コミュニティ推進交付金の実績報告において各組織から報告を受けた新規事業及び見直した事業の件数の当該年度合計値
連携中枢都市圏における広域連携事業着手数	74 件	80 件	石川中央都市圏ビジョン事業一覧のうち、白山市が関与して進行中の広域連携事業の件数の当該年度末時点の合計値
文化振興事業補助金の申請件数	8 件	10 件	当該年度合計値
景観まちづくり整備事業補助金の申請件数	4 件	4 件	当該年度合計値
白山手取川ジオパーク推進協議会との連携協定団体数 (累計)	25 団体	30 団体	当該年度末時点の累計値
白山ろく地域定住促進奨励金の利用者数	6 人	10 人	奨励金を利用した世帯に属する人数の当該年度合計値
観光入込客数 (山と雪のエリア、川と峡谷のエリア)	1,203,038 人	1,315,000 人	「白山市の観光」における地域別入込客数の当該年(1~12月)の合計値
スキー場の延べ利用者数	92,393 人	155,000 人	市内2か所のスキー場の利用者数の当該年度(スキーシーズン:12~3月)合計値
有害鳥獣による農林業被害額	6,019 千円	3,000 千円	農業共済組合、農業関係団体、農業者への聞き取り及び現地調査により算出する当該年度合計値
白山ろく地域の高齢者の要介護・要支援認定率	19.7 %	20.7 %	当該年度末時点で白山ろく地域に住所を有する65歳以上の人のうち、要介護認定または要支援認定を受けている人数の割合

白山市 デジタル田園都市構想総合戦略

策 定 令和7年3月

発行者 白山市

編 集 白山市企画振興部 S D G s ・ 地方創生推進室
〒924-8688
白山市倉光二丁目1番地
TEL (076) 276-1111 (代表)



白山市